

UNZEN CITY COMPREHENSIVE PLAN

第2次雲仙市総合計画

前期基本計画 成果指標達成状況

○将来像 “つながり”で創る
賑わいと豊かさを実感できるまち

○計画期間

基本構想	平成29年度～令和8年度
前期基本計画	平成29年度～令和3年度
後期基本計画	令和4年度～令和8年度



令和4年 3月

- | | |
|--------|---------|
| ○基本方針1 | 暮らしと安心 |
| ○基本方針2 | 産業と交流 |
| ○基本方針3 | 社会基盤と環境 |
| ○基本方針4 | 人財と郷土 |
| ○基本方針5 | 協働と戦略 |

雲仙市総合計画 前期基本計画 成果指標達成状況

はじめに

雲仙市は、平成29年3月に「第2次雲仙市総合計画」を策定しました。
この計画は、第1次となる雲仙市総合計画が平成28年度に終了することに伴い、「雲仙市総合計画等審議会」を中心に、「市民アンケート調査」、「パブリックコメント」など、市民の皆様からいただいた様々なご意見を踏まえて策定しており、さらに本市の地方創生を確立するため、「雲仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を内包した計画となっています。
雲仙市の将来像として、「“つながり”で創る 賑わいと豊かさを実感できるまち」を掲げ、その実現のため5つの基本方針を設定しています。

このたび、この5つの基本方針にそって、各政策・施策の推進の成果を示す「令和2年度成果指標」の進捗状況をまとめましたので、市民の皆様へお知らせします。
これは、目標値と令和2年度の実績値を比較することができ、目標達成のための取組みの進捗状況を明らかにしたものです。

達成状況

基本方針	達成数	目標数
暮らしと安心	24	56
産業と交流	12	53
社会基盤と環境	9	25
人財と郷土	2	22
協働と戦略	8	19
計	55	175

※「達成数」は、第2次雲仙市総合計画前期基本計画の計画期間の終了年度である令和3年度の目標値を達成した指標数を計上しています。

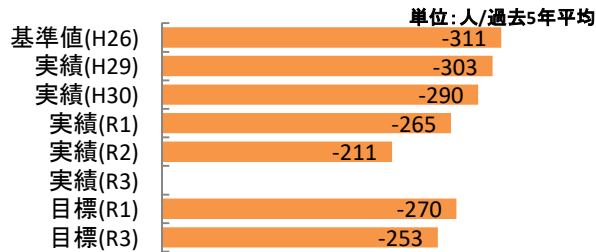
基本方針 1 暮らしと安心

政策 1-1 出会い・結婚・移住・定住

出会いから結婚、移住・定住を総合的に応援し、人口減少に歯止めをかけます。

社会動態(転入者数から転出者数を引いた数)

政策企画課



◎説明

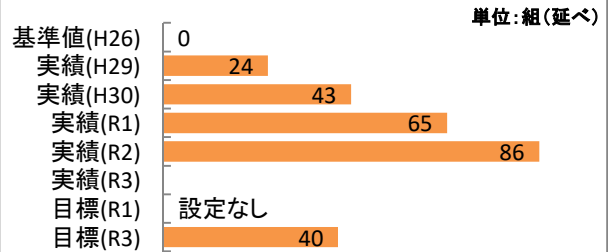
2016～2020年の社会動態の平均値

2016年 -242人
2017年 -126人
2018年 -175人
2019年 -313人
2020年 -197人
合計 -1,053人
-1,053人÷5=-210.6人

※目標 (R1, R3) 達成

マッチング成立数(H26以降の累計)

地域づくり推進課



◎説明

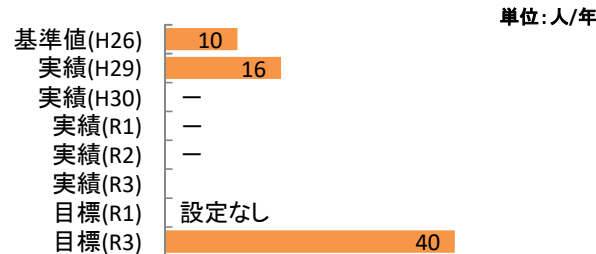
H26:0組(延べ:0組)
H27:3組(延べ:3組)
H28:4組(延べ:7組)
H29:17組(延べ:24組)
H30:19組(延べ:43組)
R1:22組(延べ:65組)
R2:21組(延べ:86組)

※目標 (R3) 達成

市内婚活イベント団体が実施する婚活イベントによるマッチング数及び長崎県婚活サポートセンターが運営するお見合いシステムによるマッチング数

婚活支援講座参加者数

地域づくり推進課

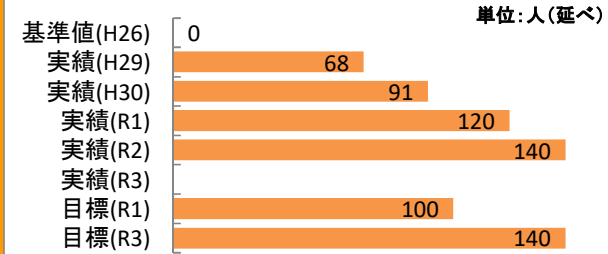


◎説明

平成30年度から事業を廃止しているため、実績なし

幸せ運ぶメールマガジン登録者数(H26以降の累計)

地域づくり推進課



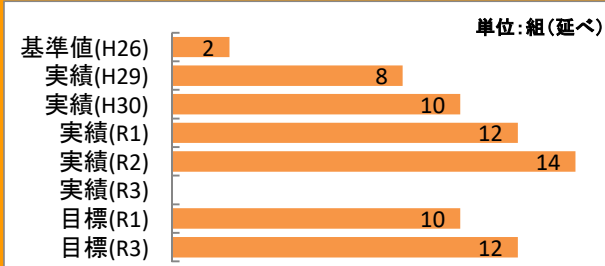
◎説明

H26:0人(延べ:0人)
H27:30人(延べ:30人)
H28:22人(延べ:52人)
H29:16人(延べ:68人)
H30:23人(延べ:91人)
R1:29人(延べ:120人)
R2:20人(延べ:140人)

※目標 (R1, R3) 達成

婚活支援事業による成婚数(H26以降の累計)

地域づくり推進課



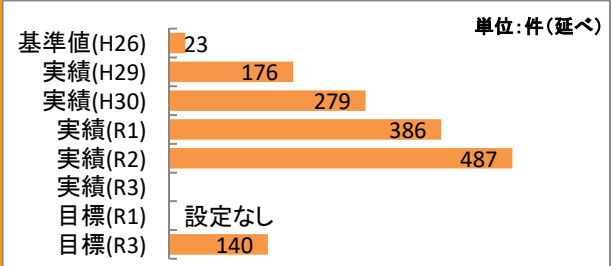
◎説明

H26:2組(延べ:2組)
H27:2組(延べ:4組)
H28:2組(延べ:6組)
H29:2組(延べ:8組)
H30:2組(延べ:10組)
R1:2組(延べ:12組)
R2:2組(延べ:14組)

※目標(R1,R3)達成

移住相談件数(H26以降の累計)

地域づくり推進課



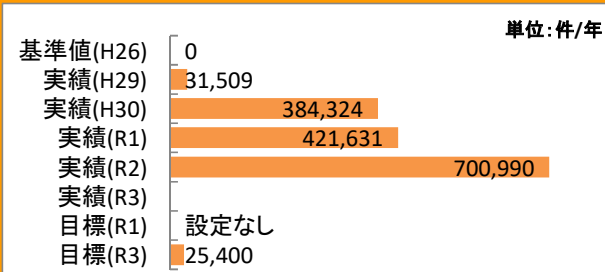
◎説明

H26:23件(延べ:23組)
H27:26件(延べ:49件)
H28:56件(延べ:105件)
H29:71件(延べ:176件)
H30:103件(延べ:279件)
R1:107件(延べ:386件)
R2:101件(延べ:487件)

※目標(R3)達成

スマートフォン用ホームページアクセス件数

政策企画課



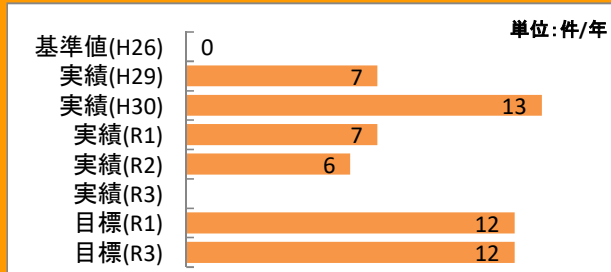
◎説明

・広報紙やパンフレット等へのQRコード掲載を推進しホームページへの利用促進を図った。
・広報委員会において、ホームページの活用と適切な記事の更新について周知を図った。

※目標(R3)達成

居住お試し件数

地域づくり推進課

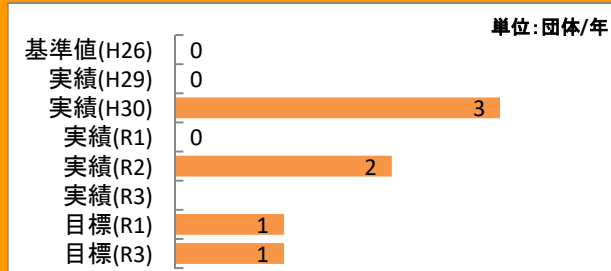


◎説明

H29:7件
H30:13件
R1:7件
R2:6件

移住受け入れ組織数

地域づくり推進課



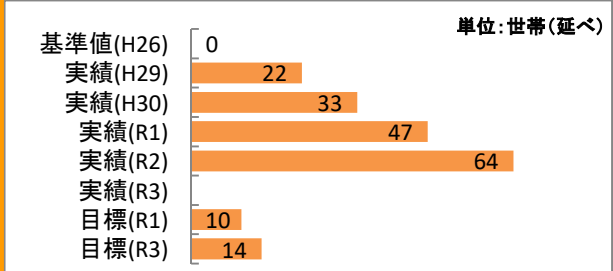
◎説明

2団体(千々石町上岳集落、千々石町下岳集落)

※目標 (R1,R3) 達成

移住者数(窓口経由)(H26以降の累計)

地域づくり推進課



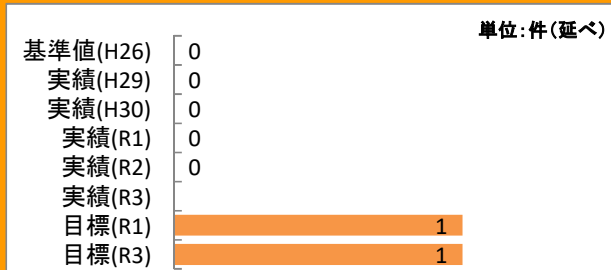
◎説明

H26:0世帯(延べ:0世帯)
H27:1世帯(延べ:1世帯)
H28:8世帯(延べ:9世帯)
H29:13世帯(延べ:22世帯)
H30:11世帯(延べ:33世帯)
R1:14世帯(延べ:47世帯)
R2:17世帯(延べ:64世帯)

※目標 (R1,R3) 達成

雲仙市版CCRC構想の策定件数(H26以降の累計)

政策企画課



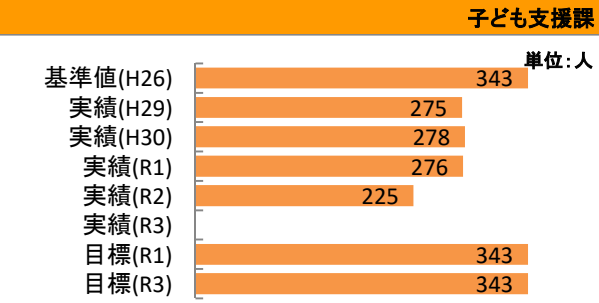
◎説明

特になし

政策 1-2 子育て支援

家庭・職場・地域が一体となり安心して子どもを産み育てることができる環境を育みます。

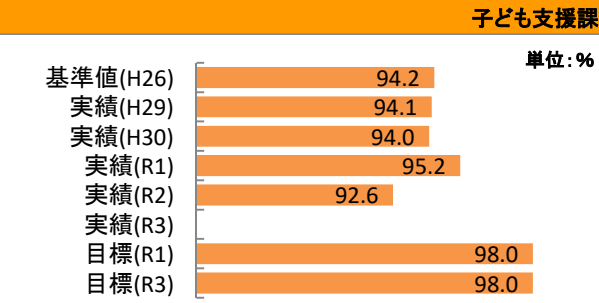
出生数



◎説明

-

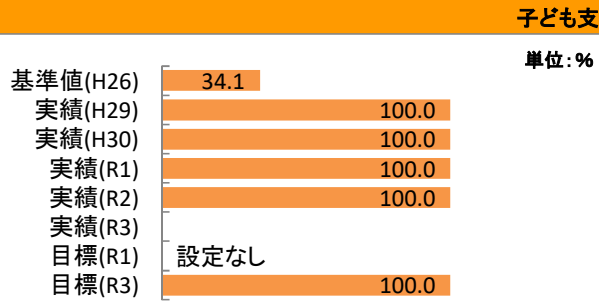
赤ちゃん健康相談出席率



◎説明

令和2年度は、対象者188人に対して受診者が174人で92.6%であった。個別通知や母子保健推進員による声かけにより、90%以上の受診率を保っている。未受診者には、訪問および電話等で状況を確認し、対応している。未受診の理由としては里帰り、体調不良(入院中)等で、やむを得ず受診ができない方であった。

乳児家庭訪問実施率

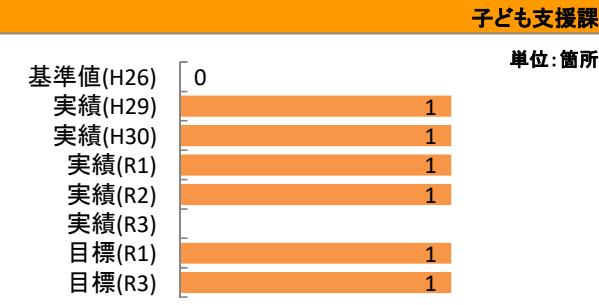


◎説明

令和2年度は、対象者240人に対して、保健師による家庭訪問等の支援が223人、委託した助産師による訪問支援が17人、合計240人の100%であった。

※目標(R3)達成

(子育て相談)利用者支援事業設置箇所数

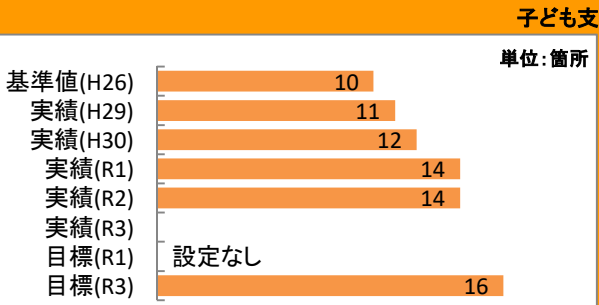


◎説明

健康福祉部に嘱託職員を1名配置し、平成28年度から事業開始。
【相談件数】
平成29年度・・・651件
平成30年度・・・518件
令和元年度・・・526件
令和2年度・・・569件

※目標(R1,R3)達成

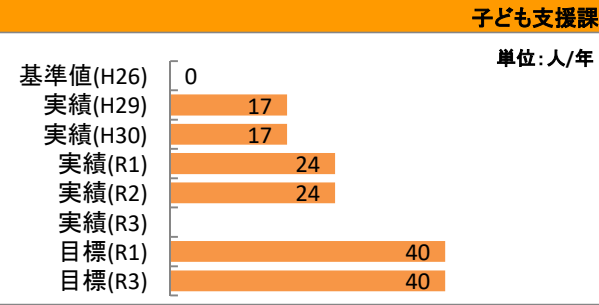
放課後児童健全育成事業実施箇所数



◎説明

令和元年度に国見地区及び瑞穂地区で1か所を増設。千々石地区については、増設しないとことから、令和元年度から増減なし。

特定不妊治療費助成事業実人員



◎説明

事業実績の延べ件数は36件で、治療種別の実人員数は次のとおり。

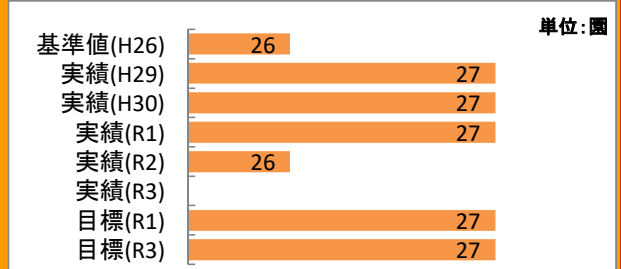
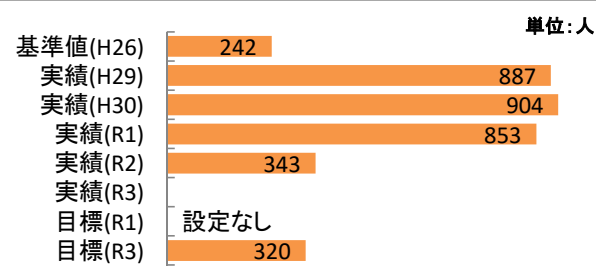
- 新鮮胚移植または採卵・凍結胚移植・・・16人
- 凍結した胚の移植またはその他・・・8人

保育料無料対象児童数（H28よりすこやか子育て支援事業対象者拡充）

延長保育実施園数

子ども支援課

子ども支援課



◎説明

※目標（R3）達成

平成28年度から第2子以降が保育園、認定こども園、幼稚園に入所する場合の保育料を免除。
令和2年度は保育料無償化により、保育料がかかる0歳児から2歳児までが対象。

◎説明

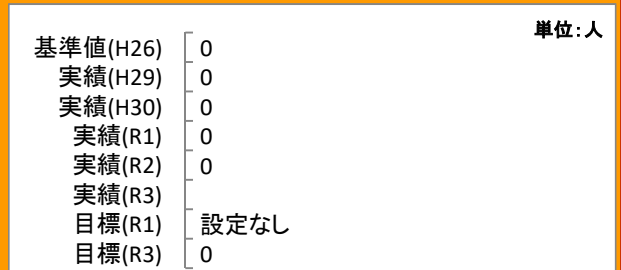
市内の延長保育が必要な全ての保育園、認定こども園で実施された。

病児・病後児保育事業実施箇所数

待機児童数

子ども支援課

子ども支援課



◎説明

※目標（R1,R3）達成

施設型：2箇所（国見町1、小浜町1）
訪問型：1箇所（長崎県看護協会）

◎説明

※目標（R3）達成

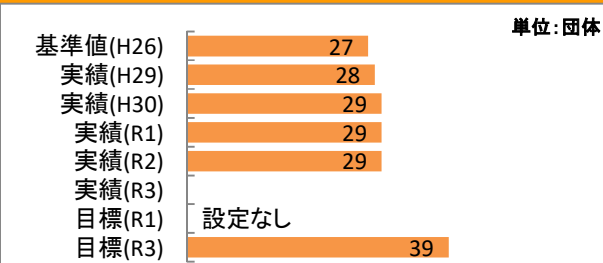
保育園や認定こども園へ入所を希望する児童を全て入所させることができた。

政策１－３ 地域福祉・高齢者福祉

住み慣れた地域で、いくつになっても安心して、いきいきと暮らせる福祉のまちづくりを進めます。

見守り活動に関する協定の締結団体数(累計)

福祉課

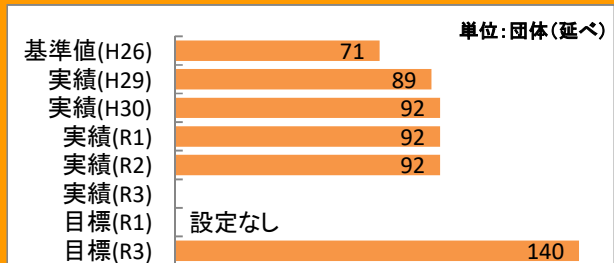


◎説明

高齢者等の見守りの活動に関する協定を締結した累計件数。令和2年度においては、新たな団体との協定には至らなかった。

地域ふれ愛ささ愛事業補助対象団体数

福祉課

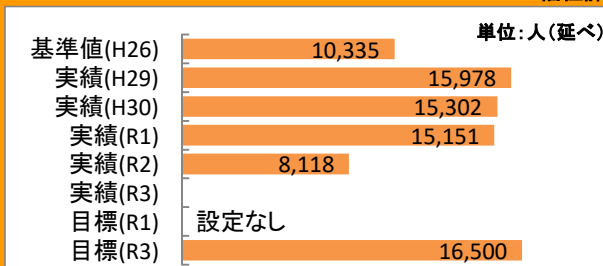


◎説明

避難行動要支援者名簿、自主防災組織と類似する点が多いため、危機管理室、地域づくり推進課、福祉課の3課で協議をし、避難行動要支援者名簿をきっかけに自主防災組織の結成を促進し、その中で地域の見守り体制づくりを行っていく。
このことから、当該事業は令和3年度から休止(転換)している。(令和2年度中も新規団体なし)

介護予防教室の年間参加者数

福祉課

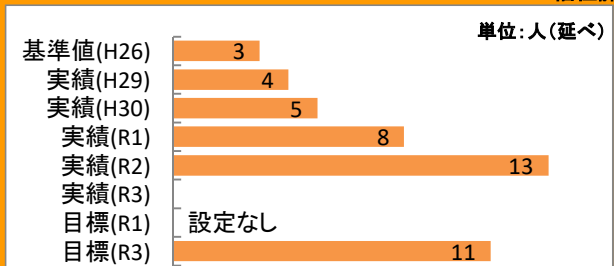


◎説明

令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防により教室を休止した期間があるため、令和2年度の実績は8,118人となった。

成年後見制度利用者数

福祉課

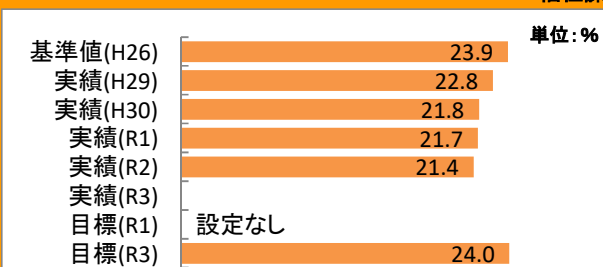


◎説明

判断能力が不十分な高齢者(65歳以上)が成年後見制度を利用できるよう市長申立や報酬助成を行った件数。市長申立3人、報酬助成10人

65歳以上に占める要支援・要介護者の介護認定率

福祉課

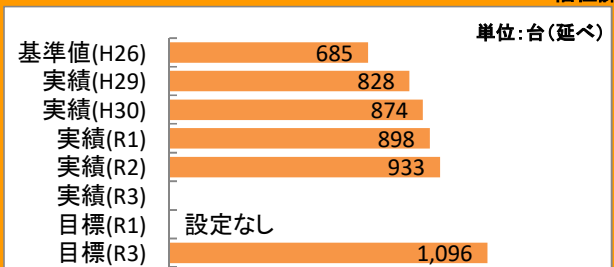


◎説明

介護保険の第1号被保険者(65歳以上の方)に占める要介護(要支援)認定者の割合

緊急通報システムの累計設置台数

福祉課

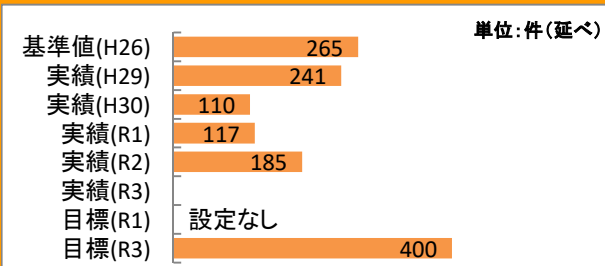


◎説明

新規設置数
H27-51台、H28-45台、H29-47台、H30-46台、
R1-24台、R2-35台
※撤去数は実績値算定から除外

高齢者相談年間件数

福祉課

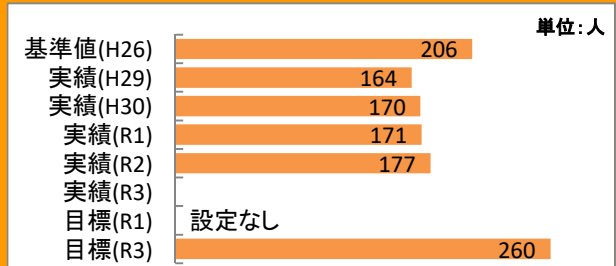


◎説明

高齢者の相談件数185件のうち、虐待に関する相談受付は8件だった。

シルバー人材センター年間加入会員数

福祉課

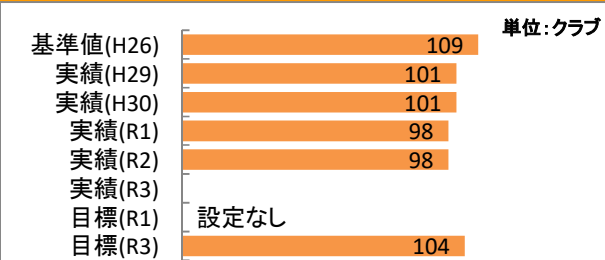


◎説明

年金受給開始年齢の引き上げや再任用(再雇用)制度制定により、シルバー人材センターの会員にはならず、継続して就業する方が増え、会員数増加には繋がっていないと推測される。

老人クラブ数(老人クラブ連合会加入数)

福祉課

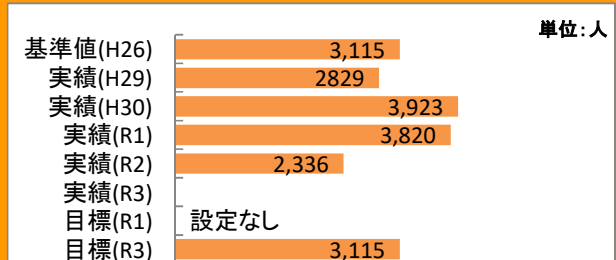


◎説明

会員の減少もあり、連合会にて各種イベントを計画するなど努力しているが、現状は増加に至っていない。

社協・老人クラブ連合会開催スポーツ大会参加者数

福祉課



◎説明

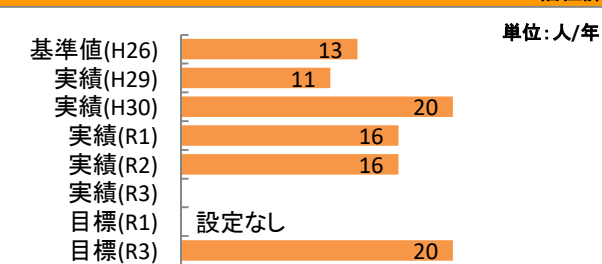
新型コロナウイルスへの感染防止のため中止を余儀なくされたスポーツイベントもあり、参加者数が伸びなかった。

政策１－４ 障がい者福祉

障がい者が住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域社会を育みます。

障害者就業・生活支援センター支援による就業者数

福祉課

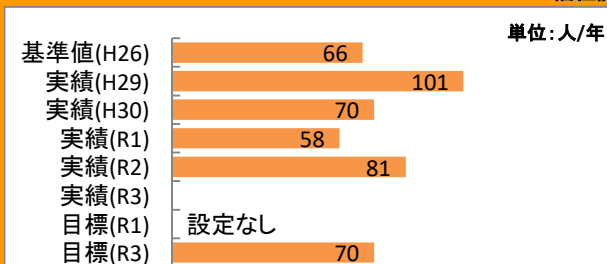


◎説明

障害者就業・生活支援センター登録者のうち、雲仙市の就業者数

計画相談支援事業利用者（児童含む）

福祉課



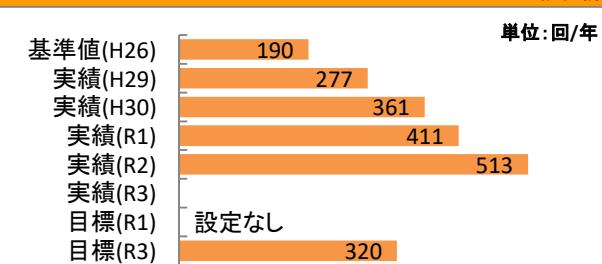
◎説明

※目標（R3）達成

福祉サービスの利用（新規）に伴うの利用計画作成件数。
早期療育の必要性が高まっており、増加傾向にある。

障がい者が外出や通学時に利用するヘルパー支援の利用回数

福祉課



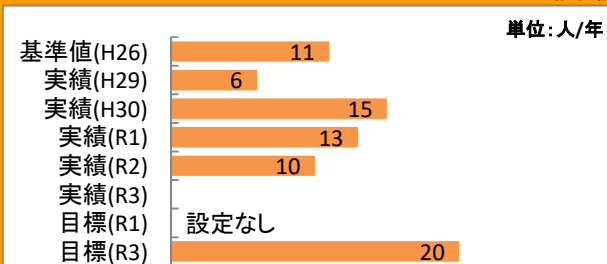
◎説明

※目標（R3）達成

令和2年度は、身体障害者4回、知的障害者333回、精神障害者3回、障害児173回の利用があった。コロナ禍ではあったが、障害児の利用回数が増加しており、外出及び通学時のヘルパー支援の必要性が高いと思われる。

手話奉仕員養成講座受講者数

福祉課

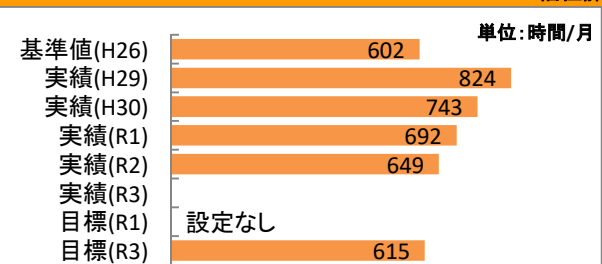


◎説明

市内や近隣市からの参加がある。市内1カ所にて夜間手話奉仕員養成講座を実施している。

訪問系サービスの利用時間数

福祉課



◎説明

※目標（R3）達成

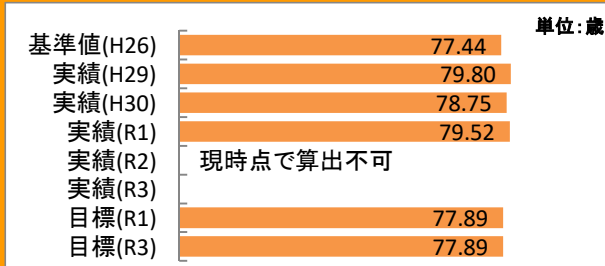
ホームヘルパー等が障害者の居宅等を訪問し、必要な援助をするもので、居宅介護（ホームヘルプ）、重度訪問介護、同行援護、行動援護がある。

政策 1-5 健康・医療体制

主体的に健康づくりに取り組める環境づくりと安心の医療体制を整備します。

健康寿命(男性)

健康づくり課

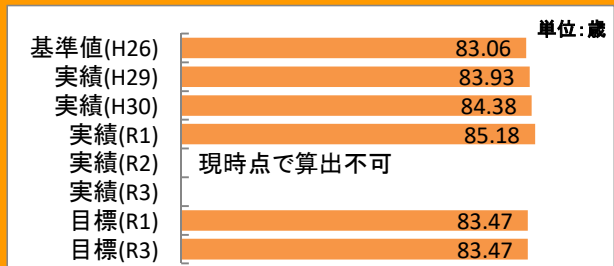


◎説明

健康寿命の算定には、人口・死亡者数及び介護認定(要介護2～5認定者数)により算出しているため、1年遅れでデータが判明するため、令和2年度の実績値は現時点では算出不可である。

健康寿命(女性)

健康づくり課

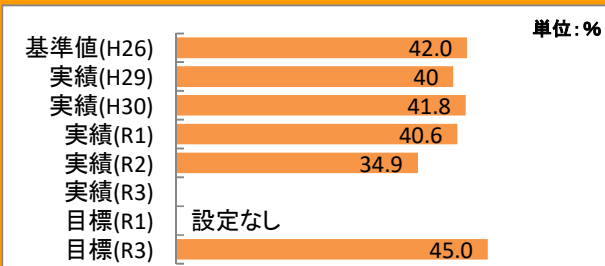


◎説明

健康寿命の算定には、人口・死亡者数及び介護認定(要介護2～5認定者数)により算出しているため、1年遅れでデータが判明するため、令和2年度の実績値は現時点では算出不可である。

特定健康診査受診率

総合窓口課

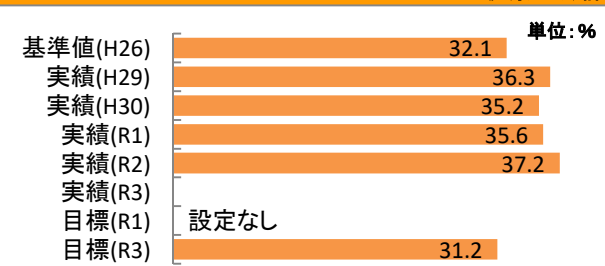


◎説明

- ・南高医師会に委託契約
- ・実施期間 令和2年5月12日～令和3年2月28日まで
- ・集団健診 29日(午前21日・午後8日)
- ・個別健診 43医療機関(雲仙市:22、南島原市21)
- ・人間ドック 7医療機関(雲仙市:4、南島原市3)
- ・対象者数 9,118人
- ・受診者数 3,182人
- ・受診率 34.9%
- ・特定健康診査(国保被保険者40～74歳)の受診者数により受診率を算出する。年度内の資格喪失者は、対象者数・受診者数から除く。

肥満者(BMI:25以上)の割合(20～60歳代男性)

健康づくり課

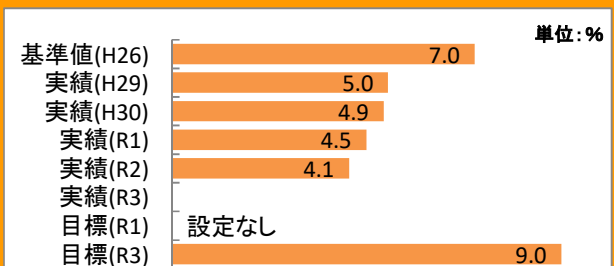


◎説明

男性:若年者健診(20～39歳)及び特定健診(40～60歳代)受診者の肥満者の割合
BMI25以上の人数/受診者数
※女性は減少傾向にあるが、男性は増加している。

胃がん検診

健康づくり課

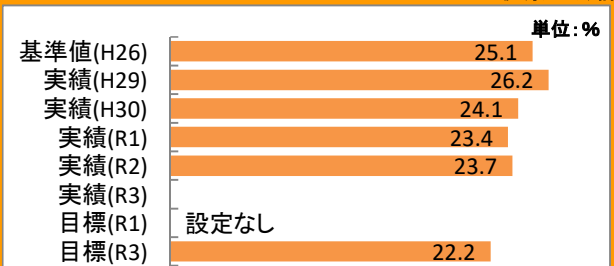


◎説明

地域保健・健康増進事業報告の数値をもとに、40歳以上の受診者数/40歳以上の全住民×100で算出。
新型コロナウイルス感染症が拡大したことから、令和2年度の受診者が減少した。

肥満者(BMI:25以上)の割合(40～60歳代女性)

健康づくり課

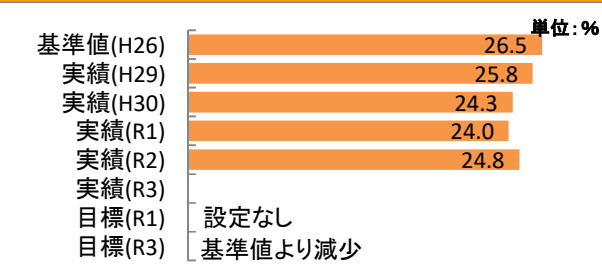


◎説明

女性:特定健診(40～60歳代)受診者の肥満者の割合
BMI25以上の人数/受診者数

成人の喫煙率の減少(男性)

健康づくり課



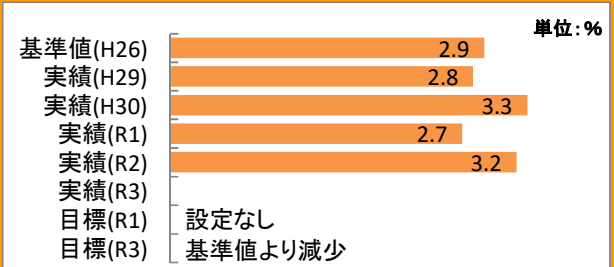
◎説明

※目標(R3) 達成

特定健診受診者の内、問診でタバコを習慣的に吸っていると答えた方の割合。
男性の喫煙率は年々減少傾向。今年度、女性の喫煙率が増加している。

成人の喫煙率の減少(女性)

健康づくり課

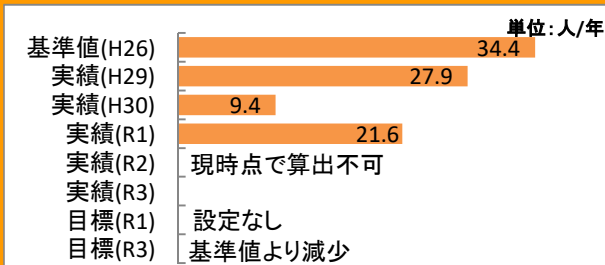


◎説明

特定健診受診者の内、問診でタバコを習慣的に吸っていると答えた方の割合。
男性の喫煙率は年々減少傾向。今年度、女性の喫煙率が増加している。

自殺者数(人口10万人あたり)

健康づくり課

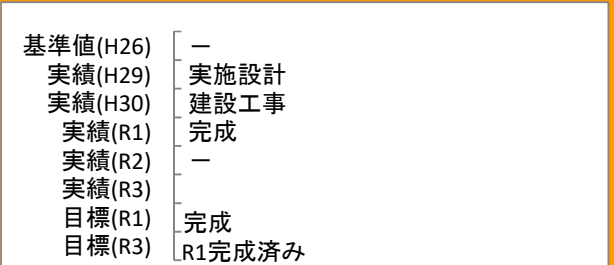


◎説明

長崎県衛生統計年報で公表されるデータを利用し算出しているため、令和2年度の実績値は現時点では算出不可である。

公立新小浜病院の整備

健康づくり課



◎説明

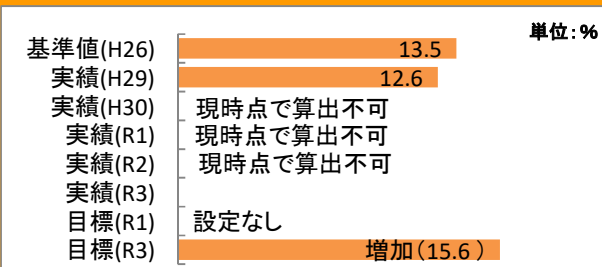
※目標(R1) 達成

令和元年度完成により終了

※令和3年4月1日 公立小浜温泉病院に名称変更

自宅等死亡割合(老健+老人ホーム+自宅)

福祉課



◎説明

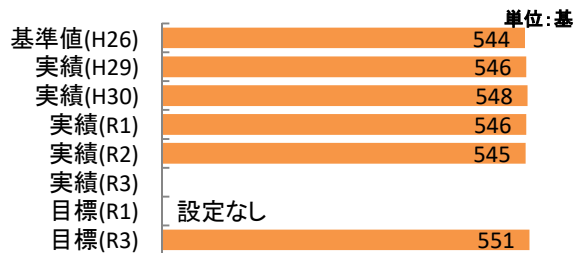
現時点で算出不可

政策１－６ 暮らしの安全確保

災害や犯罪、事故を未然に防ぎ、市民の尊い生命と財産を守ります。

防火水槽の設置数(20t以上)

市民安全課

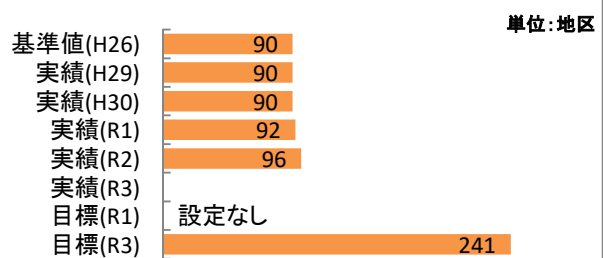


◎説明

新設1基、改修2基
老朽化により撤去が必要となり減少した。

自主防災組織地区数

危機管理課

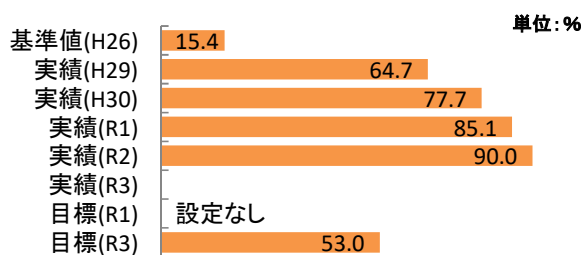


◎説明

国見地区:1自治会、吾妻地区:1自治会、愛野地区:1自治会、南串山地区:1自治会(合計:4自治会)増加
※令和元年度 吾妻地区:2自治会増加
基準値90自治会+6自治会(R1~R2年度実績)=96自治会
増加が少なかった要因として、コロナ禍で各自治会の会合等が開催できない状況であったことが考えられる。
今後も自治会長会議や出前講座等により自主防災組織の説明を行い、結成促進を図る。

防犯灯のLED化率(H26以降の累計)

市民安全課

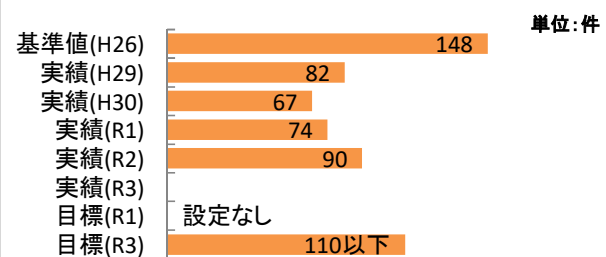


◎説明

※目標(R3)達成
市全体基数:3,918 LED基数:3,547 目標設定時に比して、全体基数の増加が鈍いこともLED化率が高い要因となっている。

刑法犯罪発生件数

市民安全課

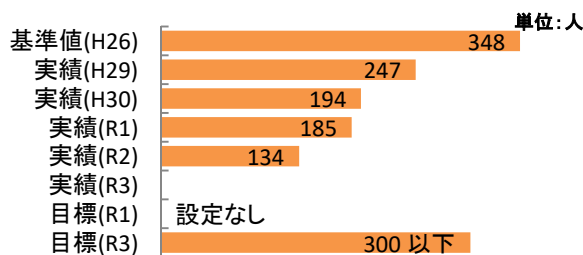


◎説明

※目標(R3)達成
内訳 粗暴犯:9件、窃盗犯:61件、知能犯:5件、凶悪犯1件、風俗犯1件、その他13件

交通事故による死傷者数

市民安全課

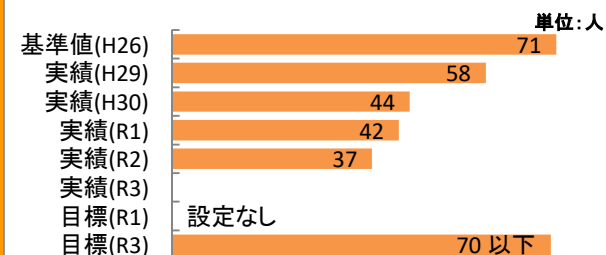


◎説明

※目標(R3)達成
内訳 死者:2名 負傷者:132名

高齢者交通事故者数

市民安全課

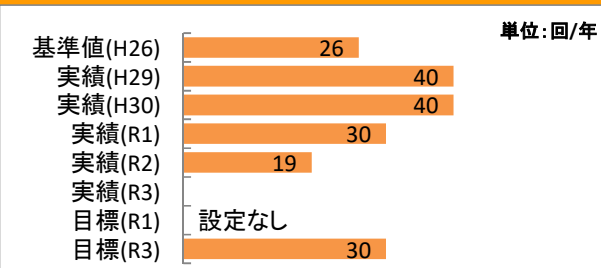


◎説明

※目標(R3)達成
65歳以上の交通事故者数
内訳 死者:1名 負傷者:29名、その他7名

消費生活関係出前講座開催回数

地域づくり推進課



◎説明

(出前講座対象)

- ・ころぼんごとががんばらんば体操教室 15回
- ・各地区民生児童委員協議会 4回

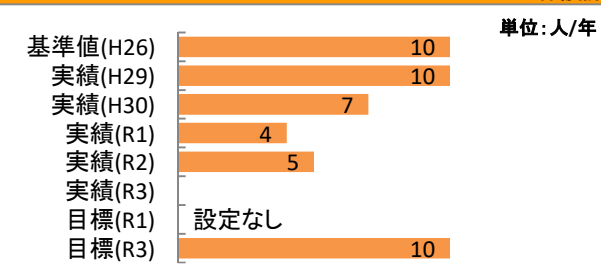
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため5回の講座が中止となった。

政策 1-7 低所得者福祉

低所得者の自立を支援します。

就労支援による就労開始者数

保護課

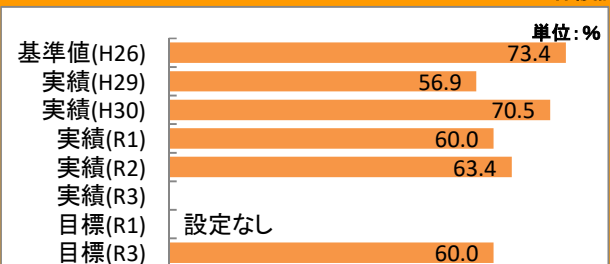


◎説明

- 生活保護受給者等就労自立促進事業 1人
- 被保護者就労支援事業 4人

稼働年齢層への就労支援による就労率

保護課



◎説明

※目標(R3) 達成

令和2年度 45人(就労達成者数)÷71人(就労支援促進計画参加者数)(解説)

生活保護費を受給している人で、働く意欲や能力がある人を対象として、求職就労支援促進計画事業に、登録を行ない、ハローワークの巡回相談などを通じて、求人情報の提供を行なった。

登録者71人の内、45人が就労した。

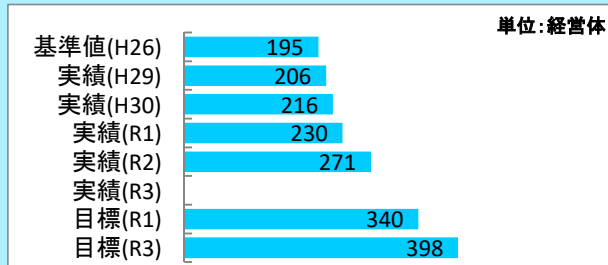
基本方針2 産業と交流

政策2-1 農業

国内外の競争に勝ち抜く日本屈指の農業を確立します。

農業所得6,000千円以上経営体数

農林課

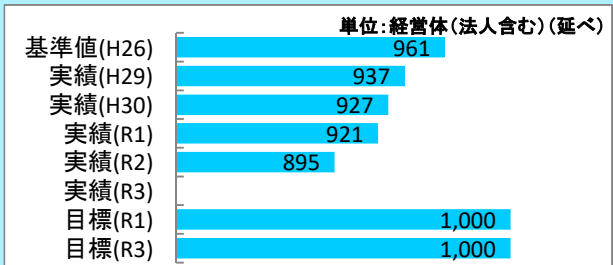


◎説明

認定農業者名簿(R3.3.31版)参照

認定農業者数

農林課

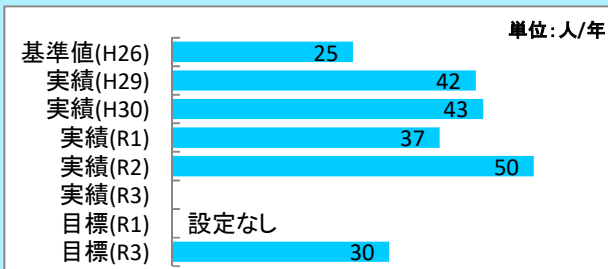


◎説明

認定農業者名簿(R3.3.31版)参照

新規就農者数

農林課



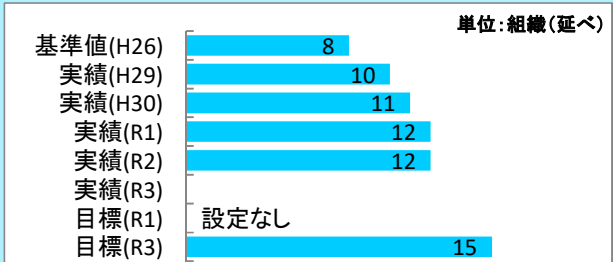
◎説明

島原振興局において把握している件数

※目標(R3)達成

集落営農組織数

農林課

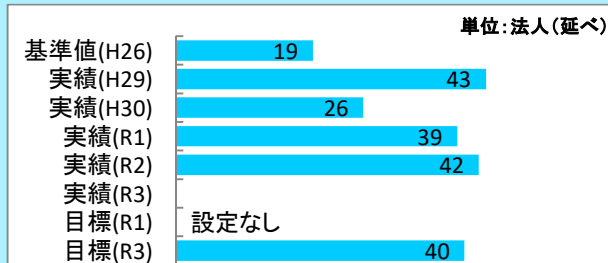


◎説明

○国見町:国見第一集落営農組合
○瑞穂町:河内集落営農組合、下木場集落営農組合、中木場集落営農組合、上木場集落営農組合
○吾妻町:守山集落営農組合、吾妻集落営農組合、平木場集落営農組合、川床集落営農組合、吾妻・山田集落営農組合、阿母崎集落営農改善組合、棚田ほたる

農業生産法人数

農林課



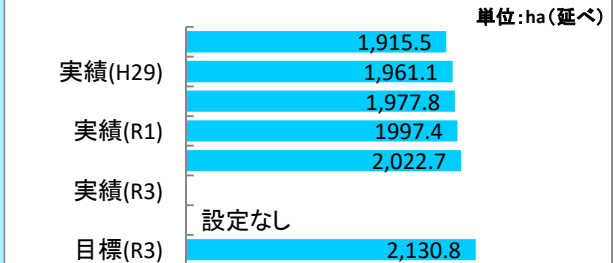
◎説明

農業委員会より情報提供

※目標(R3)達成

農地の区画整理面積

農漁村整備課



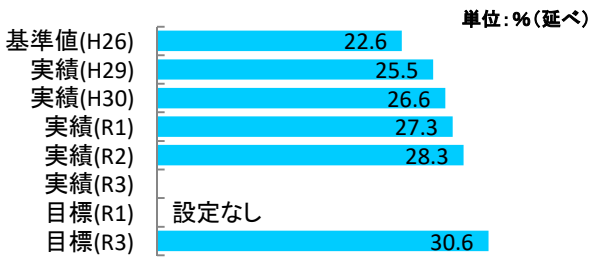
◎説明

令和2年度までの実績
水田面積 1,294.90ha
畑面積 727.87ha
合計 2,022.77ha

畑のほ場整備率

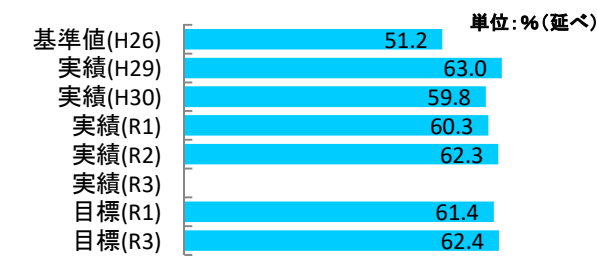
農地集積率
農漁村整備課

農林課



◎説明

令和2年度の実績
畑の耕地面積(第65次より) 2,570ha
R1年度までの整備面積 702.47ha
宮田地区整備面積 4.1ha
愛津原地区整備面積 12.6ha
桃山田地区整備面積 8.7ha
・畑の区画整理面積: 727.87ha / 畑の耕地面積: 2,570ha × 100 = 整備率: 28.3%



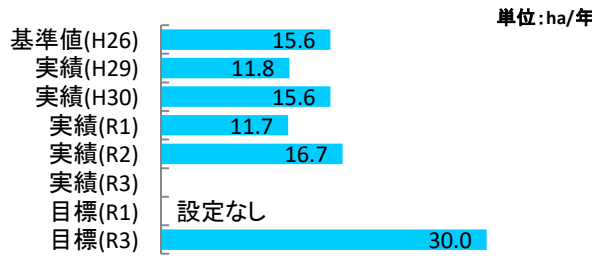
◎説明

担い手の農地利用集積状況調査参照
(3,257ha 利用集積面積 / 4,840ha 耕地面積)

※目標 (R1) 達成

年間耕作放棄地解消面積

農林課

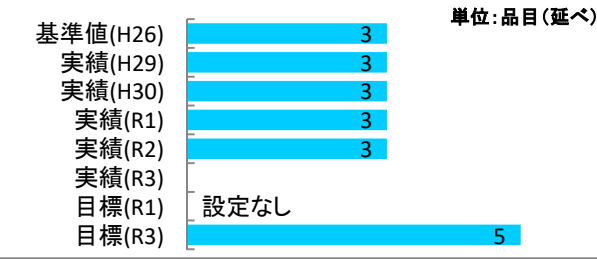


◎説明

令和2年度耕作放棄地解消面積実績調査(長崎県農地活用推進室)参照

長崎県特別栽培農産物数

農林課

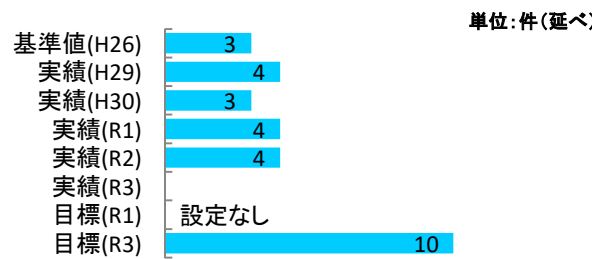


◎説明

小浜特別栽培組合(たまねぎ、春馬鈴薯、秋馬鈴薯)

有機JAS認定件数

農林課

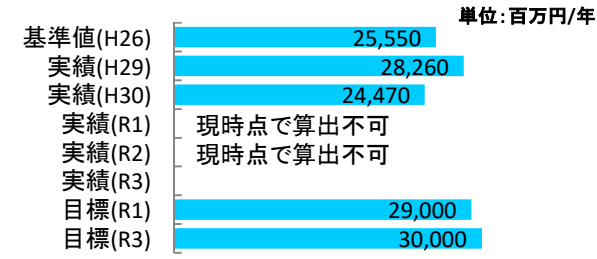


◎説明

認証取得団体: 吾妻旬菜株式会社、はちまき自然農法グループ、長崎ECOF、ナチュラルファーム合同会社

農業産出額

農林課



◎説明

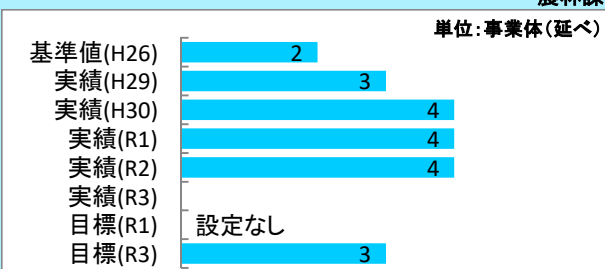
現時点で算出不可

政策 2-2 林業

持続可能で経営効率の高い林業を推進します。

認定林業事業体数

農林課



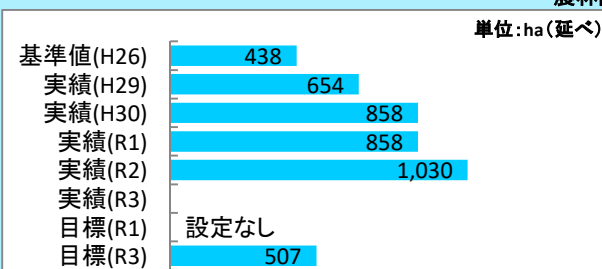
◎説明

※目標 (R3) 達成

(一社)長崎県林業労働力確保支援センターHPより
・令和2年度における県の認定を受けている市内事業体

森林経営長期受委託契約面積

農林課



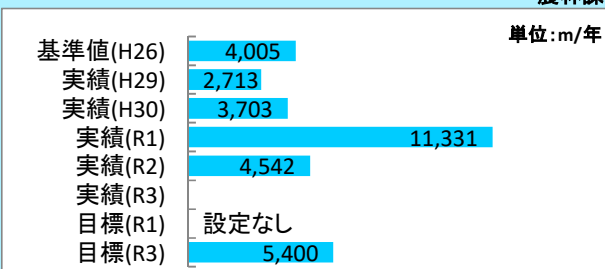
◎説明

※目標 (R3) 達成

森林経営計画から集計
・認定林業事業体が森林所有者と長期受委託契約を締結した面積の集計

路網の整備

農林課

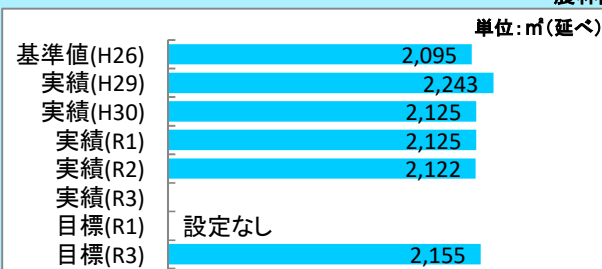


◎説明

島原半島森林・林業の概要(令和3年度版)より
・雲仙市内でR2年度において開設された作業道延長

保安林面積

農林課

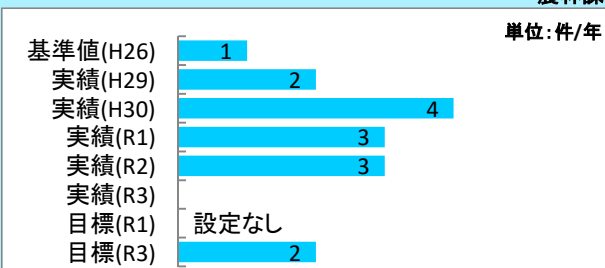


◎説明

島原半島森林・林業の概要(令和3年度版)より
・雲仙市内の保安林指定面積

森林経営計画策定件数

農林課



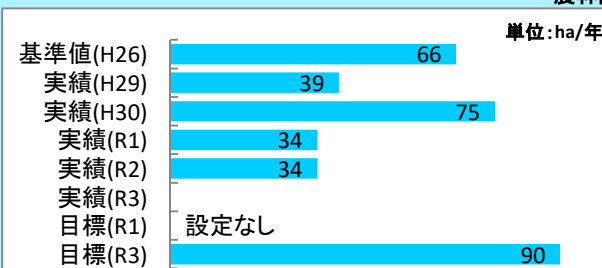
◎説明

※目標 (R3) 達成

島原半島森林・林業の概要(令和3年度版)より
・令和2年度中に雲仙市が認定した経営計画数

利用間伐面積

農林課

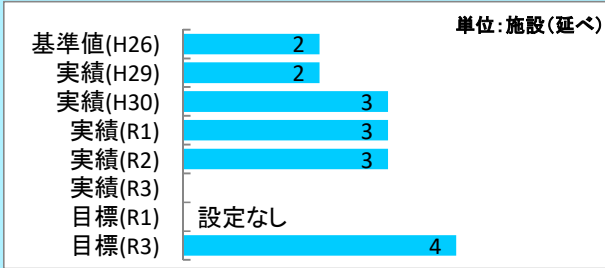


◎説明

島原半島森林・林業の概要(令和3年度版)より
・雲仙市内の保安林指定面積

県産材利用の公共施設数

農林課

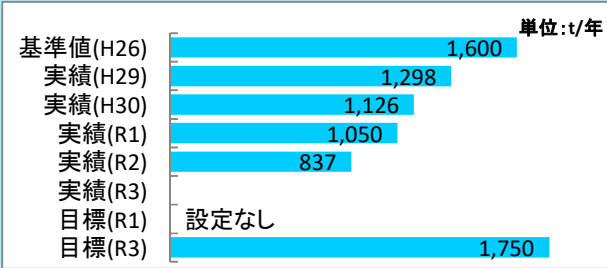


◎説明

令和2年度中の木造公共施設並びに公共施設の木質化の実績なしのため、昨年の数値と同数

特用林産物産出量

農林課



◎説明

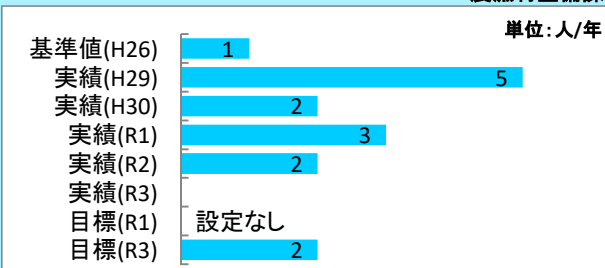
令和2年 特用林産物生産統計調査より

政策２－３ 水産業

生産環境の整備と付加価値向上により、持続可能な水産業を確立します。

新規漁業就業者数

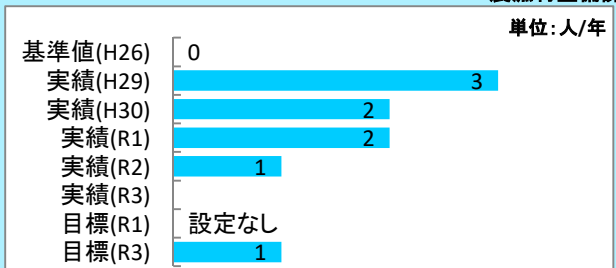
農漁村整備課



◎説明 ※目標（R3）達成
漁業者情報による新規希望者が獲得できた。

経営改善個別指導

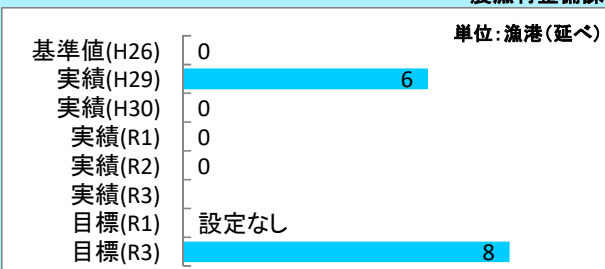
農漁村整備課



◎説明 ※目標（R3）達成
1名の漁業者へ個別指導を実施し、経営改善計画を策定した。

機能保全計画策定漁港数（漁港施設の機能診断）

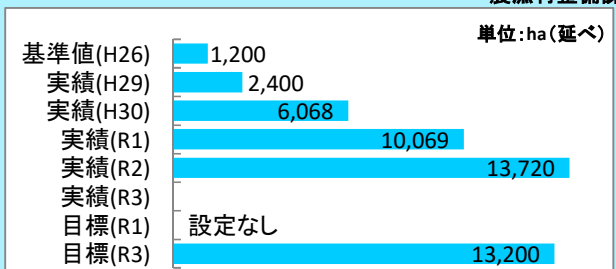
農漁村整備課



◎説明
令和2年度の実績なし
※8漁港事業完了による

橋湾堆積物除去

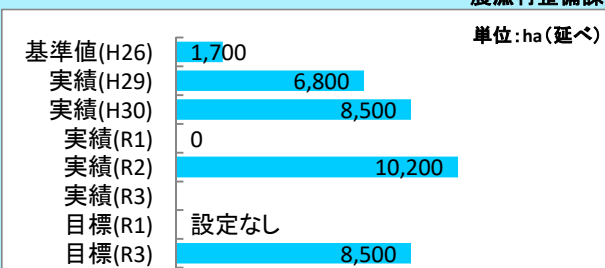
農漁村整備課



◎説明 ※目標（R3）達成
予定区域を前倒しで実施できた。
令和2年度実績 3,651ha

有明海海底耕耘

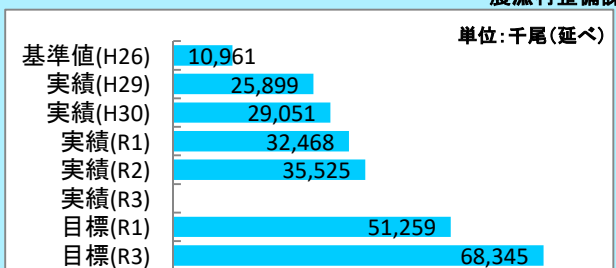
農漁村整備課



◎説明 ※目標（R3）達成
順調に推移している。
令和2年度実績 1,700ha

種苗放流（稚魚）

農漁村整備課

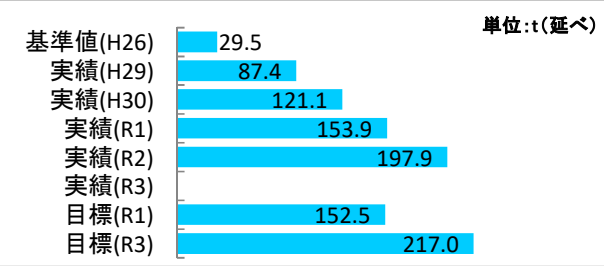


◎説明
事業者負担を拠出する漁業者の収益が厳しい状況であり、種苗単価が上昇する中で、放流数の増加につながらなかった。
漁協役員との協議を実施したが、事業効果としてガザミやヒラメ等の水揚げに繋がっており、効果は認めているが、種苗も大型化の傾向があり、尾数の増加は特に難しい。
また、国県の予算確保も厳しい状況である。
令和2年度実績 3,057千匹

種苗放流(アサリ)

農漁村整備課

単位:t(延べ)



◎説明

※目標 (R1) 達成

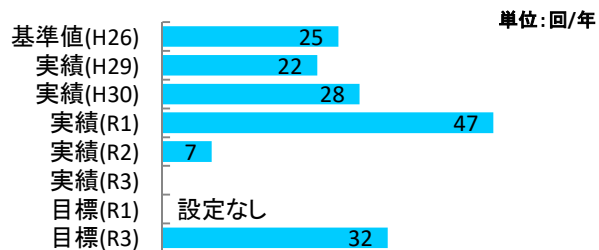
漁協合併により単価が安く入札出来たため、t数が増となった。
令和2年度実績 44.0t

政策２－４ 物産ブランド

物産のブランド化により、販路拡大を進めます。

「雲仙ブランド」のPR活動及び商談会回数

観光物産課

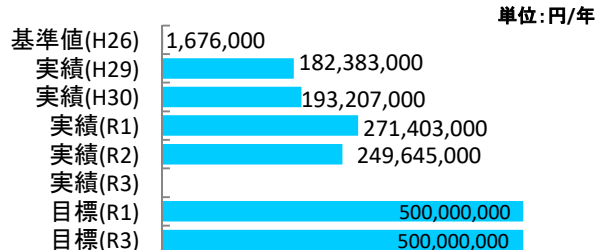


◎説明

新型コロナウイルス感染症の影響等によるPR活動及び商談会の減

ふるさと応援寄附額

観光物産課

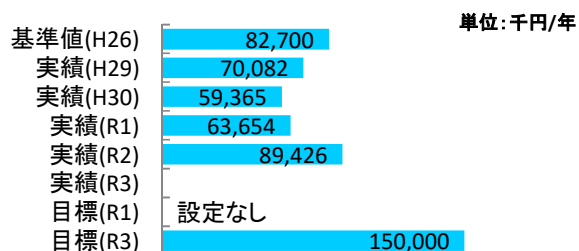


◎説明

ポータルサイト及び返礼品数を増やしたが、寄附額は前年比で減(▲91%)

直売所の売上額

観光物産課



◎説明

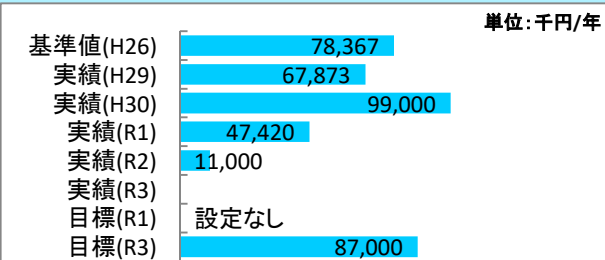
吾妻ふるさとふれあい館 32,933千円
千々石直売所 56,493千円

政策２－５ 商工業・企業誘致・新産業

商工業の振興や企業誘致、新産業の育成により、雇用の場を創出し、地域経済の活性化を図ります。

中小企業振興資金・設備資金助成事業における融資実行額

商工労政課

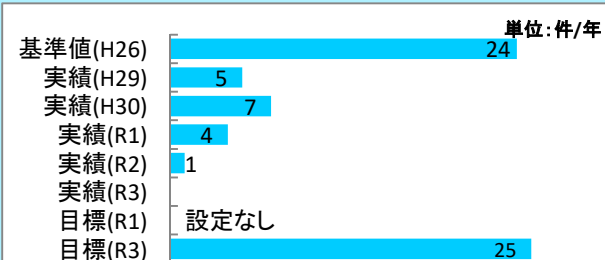


◎説明

中小企業振興資金における融資実行額
0千円(0件)
設備資金助成事業における融資実行額
11,000千円(1件)

中小企業振興資金・設備資金助成事業における融資実行件数

商工労政課

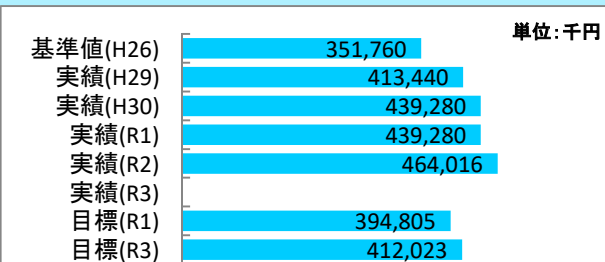


◎説明

中小企業振興資金における融資実行額
0千円(0件)
設備資金助成事業における融資実行額
11,000千円(1件)

製造事業所平均年間製造品出荷額

商工労政課・企業誘致推進室



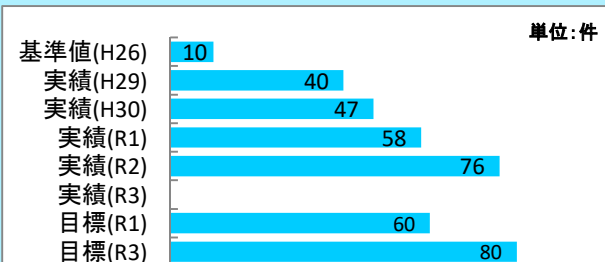
◎説明

令和元年工業統計より(平成30年実績値)
製造品出荷額2,876,901万円÷事業所数62件
≒464,016千円

※目標 (R1, R3) 達成

新規出店数(起業・創業により商工会に加入した事業所数)(H26以降の累計)

商工労政課



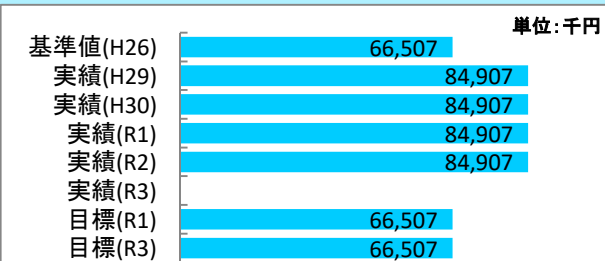
◎説明

新規出店数(起業・創業により商工会に加入した事業所数)(平成26年以降の累計) 69件(H26～R1 58件、R2 11件)

※目標 (R1) 達成

卸売・小売事業所平均年間販売額

商工労政課



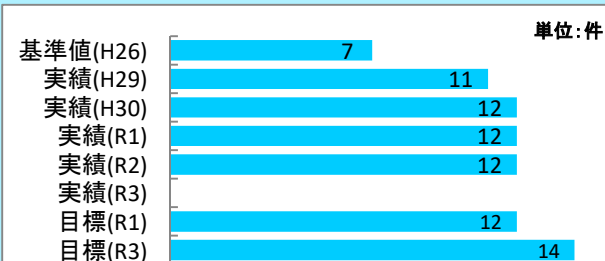
◎説明

平成28年経済センサス活動調査より
年間商品販売額 41,774百万円÷事業所数492件
≒84,907千円

※目標 (R1, R3) 達成

企業誘致件数(H26以降の累計)

企業誘致推進室



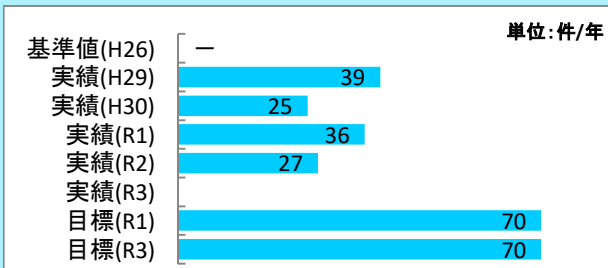
◎説明

企業誘致件数(平成26年度以降の累計)12件

※目標 (R1) 達成

創業支援相談件数

商工労政課

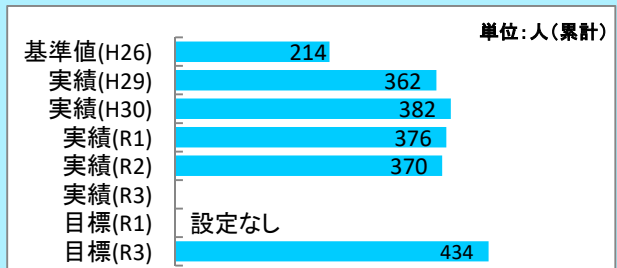


◎説明

創業支援事業計画に基づく創業支援事業による支援実績27件

誘致企業雇用者数

企業誘致推進室

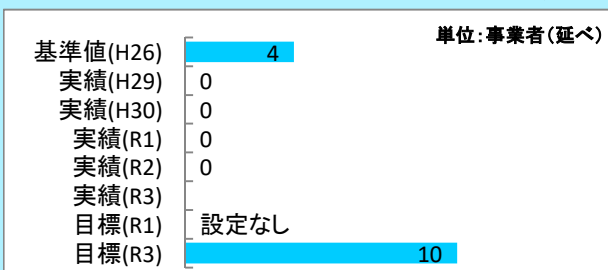


◎説明

令和2年度末 誘致企業雇用実数(企業誘致推進室調べ) 370人

6次産業化法に基づく認定事業者数

農林課

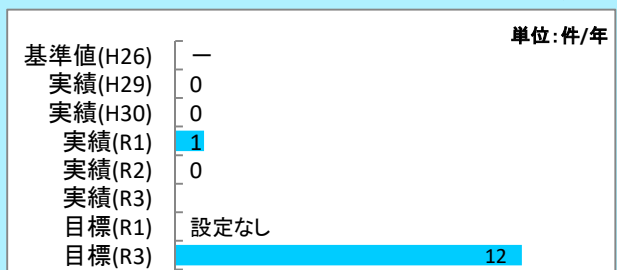


◎説明

実績なし

消費者と生産者との意見交換会の開催

農林課

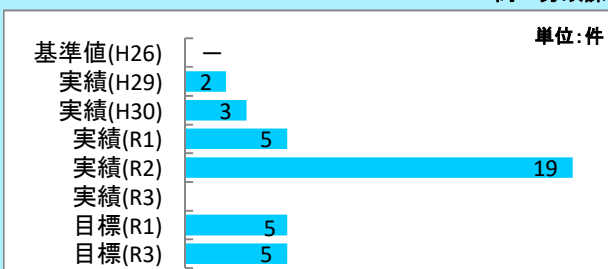


◎説明

実績なし

ワーク・ライフ・バランスや処遇改善に取り組んでいる企業数

商工労政課

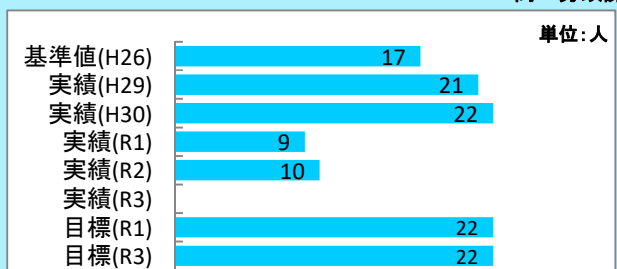


◎説明

※目標(R1, R3) 達成
魅力ある職場づくり支援事業によるワークライフバランスや処遇改善に取り組んでいる企業数 19社

市内高校に通う生徒の市内企業への就職数

商工労政課

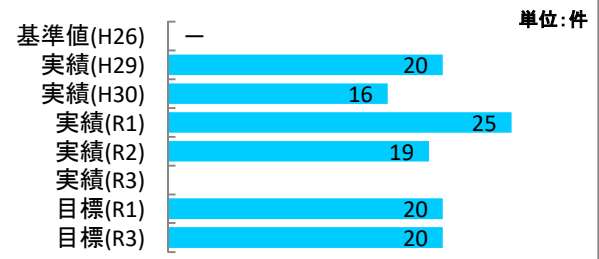


◎説明

雲仙市内高校の進学就職状況に関する調査結果 10名
(令和3年3月卒業)

職場環境改善、研修実施企業数

商工労政課



◎説明

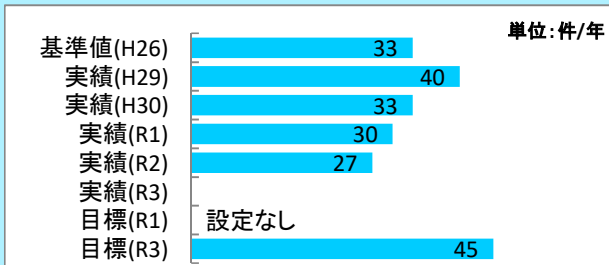
魅力ある職場づくり支援事業によるワークライフバランスや処遇改善に取り組んでいる企業数 19社

政策２－６ 観光・交流

自然環境や歴史文化など地域資源を活用した観光振興により、交流人口を拡大させ、地域経済の活性化を図ります。

体験型観光プログラム数

観光物産課

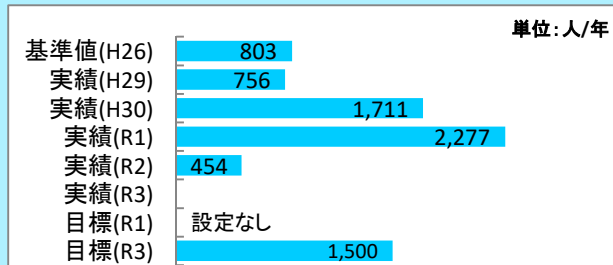


◎説明

新型コロナウイルス感染症の影響により減

体験型観光の参加者数

観光物産課

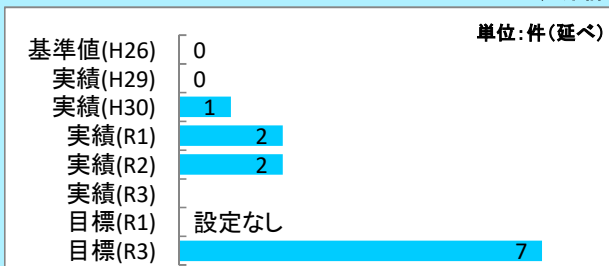


◎説明

新型コロナウイルス感染症の影響により減

ホテル・旅館の大規模建築物の耐震化件数

建築課

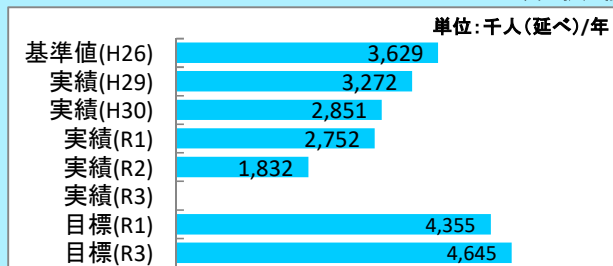


◎説明

大規模建築物耐震化件数
平成30年度：雲仙九州ホテル
令和元年度：伊勢屋旅館

観光客延数

観光物産課



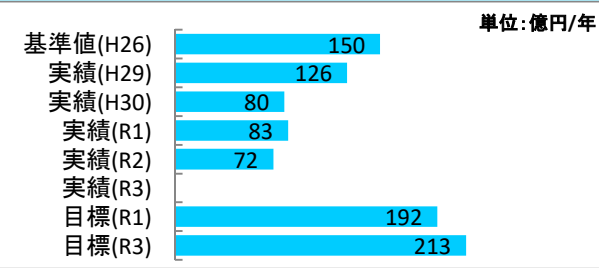
◎説明

日帰り客数 1,221,064人
宿泊客延べ滞在数 611,059人
観光客延べ数 1,221,064人+611,059人=1,832,123人

宿泊者の観光消費額

観光物産課

単位: 億円/年



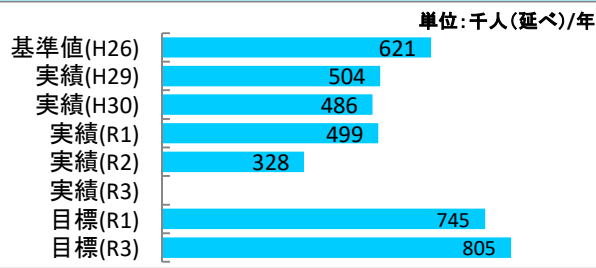
◎説明

宿泊客の消費額単価: 18,345円
宿泊客の観光消費額
宿泊費 11,646円 × 328,634人 = 3,827,271,564円①
交通費 2,136円 × 611,059人 = 1,305,222,024円②
飲食・娯楽費 2,433円 × 611,059人 = 1,486,706,547円③
土地代その他 2,130円 × 282,425人 = 601,565,250円④
合計(①+②+③+④) 7,220,765,385円

延宿泊者数

観光物産課

単位: 千人(延べ)/年



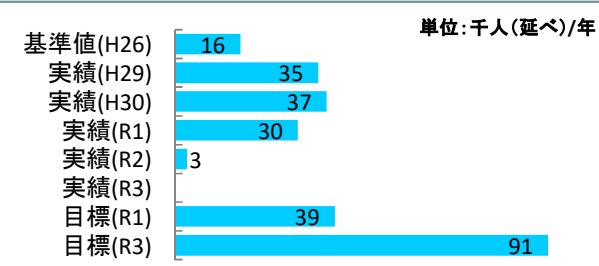
◎説明

コロナ禍の影響を受け対前年増減率▲34.2%
令和元年度: 499,701人、令和2年度: 328,634人

外国人延宿泊者数

観光物産課

単位: 千人(延べ)/年



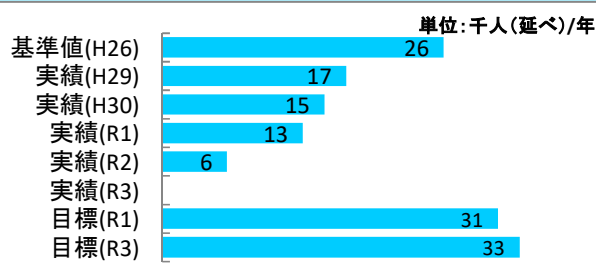
◎説明

コロナ禍の影響を受け対前年増減率▲89.1%
令和元年度: 30,016人、令和2年度: 3,265人

修学旅行延宿泊者数

観光物産課

単位: 千人(延べ)/年



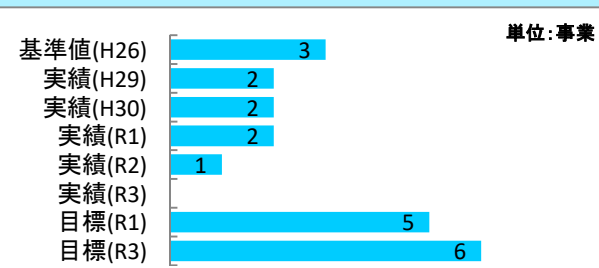
◎説明

コロナ禍の影響を受け対前年増減率▲52.5%
令和元年度: 13,179人、令和2年度: 6,260人

大学・専門学校(学生)等との連携事業数(年間)

政策企画課

単位: 事業



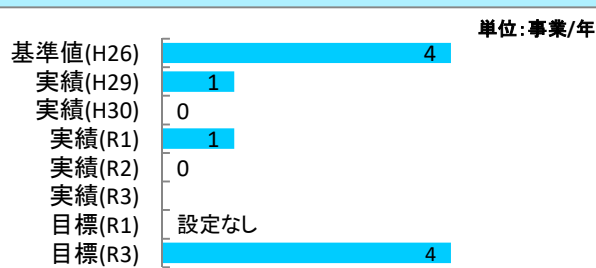
◎説明

「UNZEN,温泉と地下構造調査」を長崎大学と連携して行った。(環境政策課)
【内容】
・雲仙市内(雲仙・小浜地域)の源泉調査の実施
・主要源泉におけるモニタリングの実施
・地下構造の調査(GDS法による電磁探査)
・地熱資源の保護・活用に関する条例の制定および協議体制の構築

姉妹都市等による国内・国外交流事業数

生涯学習課

単位: 事業/年



◎説明

(天正遣欧少年使節ゆかりの地交流事業)
国内交流事業を西海市にて実施予定としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大状況を踏まえ、中止となった。

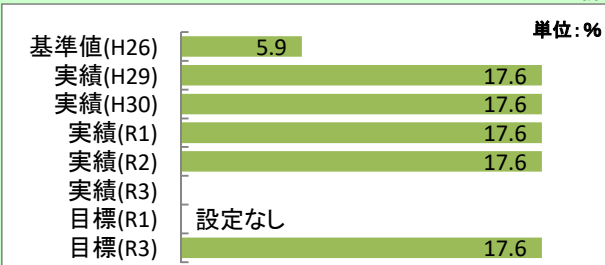
基本方針3 社会基盤と環境

政策3-1 道路・公共交通

広域的な道路ネットワークの構築と公共交通機関の維持・活性化を図ります。

地域高規格道路「島原道路」整備率(雲仙市内)

監理課



◎説明

市内供用区間 / 市内延長
3km / 17km = 17.6%

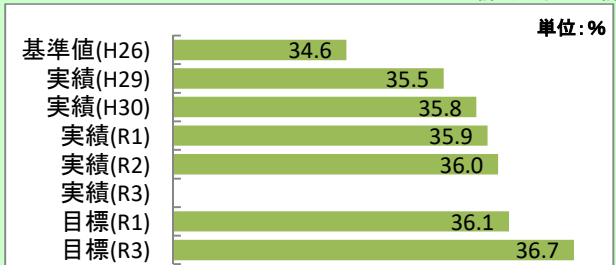
【市内供用区間内訳】

愛野森山BP 1km、吾妻愛野BP 2km

※目標(R3) 達成

市道の改良率

監理課・道路河川課

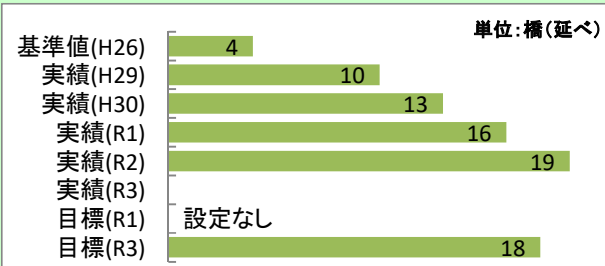


◎説明

改良率 = 改良済み延長 / 実延長
R2実績 388,645.0m / 1,079,565.2m = 36.0%

橋梁補修

道路河川課



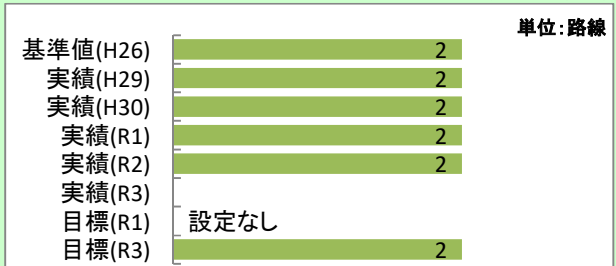
◎説明

令和元年度まで補修完了 16橋
令和2年度補修完了 3橋
合計 19橋

※目標(R3) 達成

乗合タクシー運行路線数

地域づくり推進課



◎説明

路線数: 2路線
生活交通路線の確保のため、現状の2路線の維持に努めた。

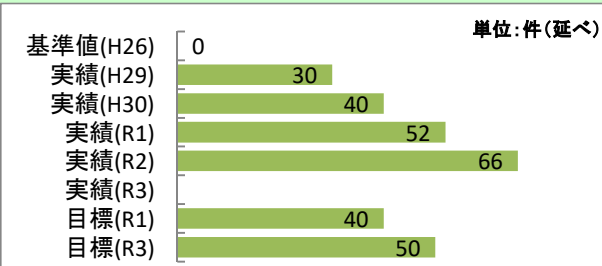
※目標(R3) 達成

政策 3-2 社会基盤

豊かな暮らしを支える社会基盤を計画的に整備します。

危険空家の除却費用助成件数

建築課



◎説明

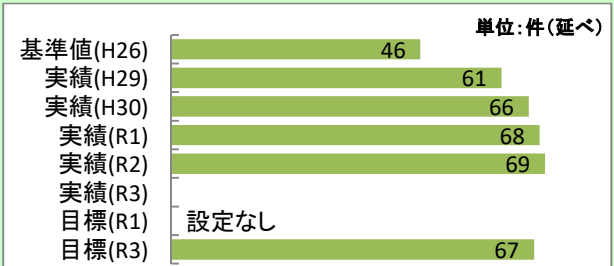
※目標 (R1, R3) 達成

老朽危険空家除却費用助成件数

平成28年度: 17件 令和元年度: 12件
平成29年度: 13件 令和2年度: 14件
平成30年度: 10件

木造住宅耐震診断費用助成件数

建築課



◎説明

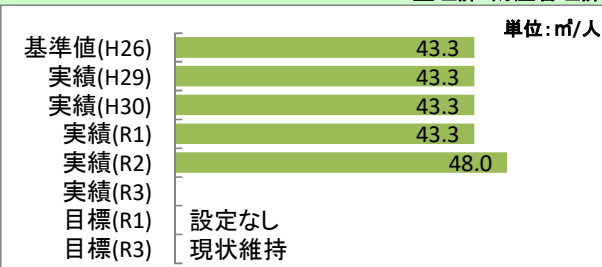
※目標 (R3) 達成

木造住宅耐震診断費用助成件数

平成18年度～26年度: 46件 平成30年度: 5件
平成27年度: 3件 令和元年度: 2件
平成28年度: 8件 令和2年度: 1件
平成29年度: 4件

公園等整備量(H22)(一人当たり面積)

監理課・財産管理課



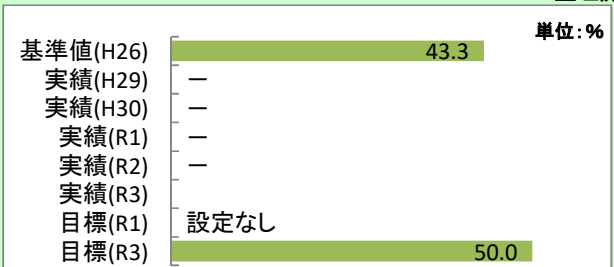
◎説明

※目標 (R3) 達成

平成22年度緑の基本計画基礎資料 / 令和2年度人口
2,043,000m² / 42,529人 = 48.0m²/人

公園の充実度(H24)

監理課

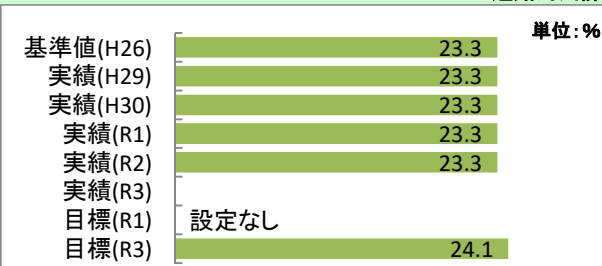


◎説明

調査未実施

急傾斜地崩壊対策施設整備率

道路河川課



◎説明

(根拠) ※1 ※2

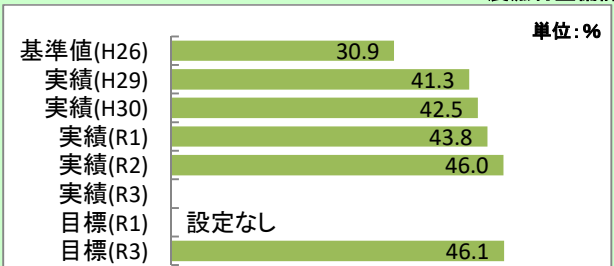
令和元年度 32箇所/137箇所 × 100 = 23.3%

※1 崩壊対策施設整備済地区数

※2 崩壊危険箇所数

漁港海岸保全施設整備率

農漁村整備課



◎説明

令和2年度までの実績

木指漁港海岸 1,156m

赤間漁港海岸 210m

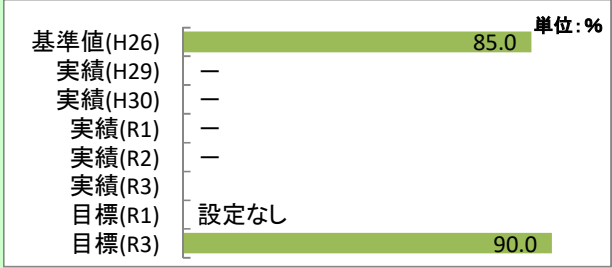
整備延長 1,366m

・整備延長: 1,366m / 計画延長: 2,966m × 100

= 整備率: 46.0%

自慢できる景観がある割合

監理課



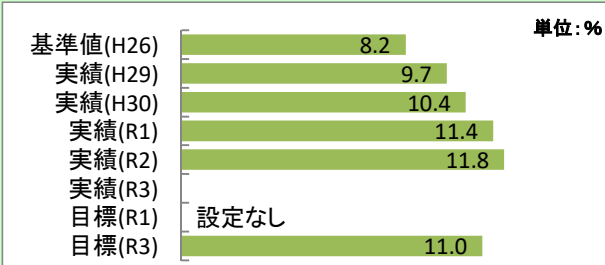
◎説明
調査未実施

政策 3-3 上下水道

上下水道施設の適正な維持管理と水洗化の普及を図ります。

水道施設の耐震化率(H26以降の累計)

水道課



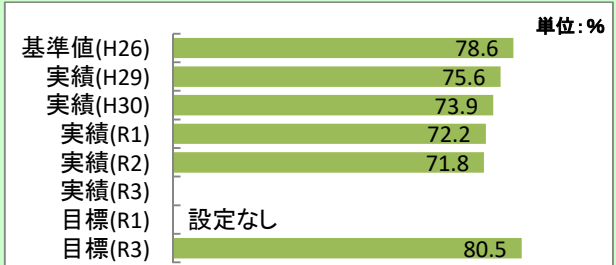
◎説明

※目標(R3)達成

(H30までの耐震化布設延長+R1耐震化布設延長)÷総延長=耐震化率
(60.5km+3.7km)÷543.3km=11.8%

水道有収率(有収水量/給水量)

水道課



◎説明

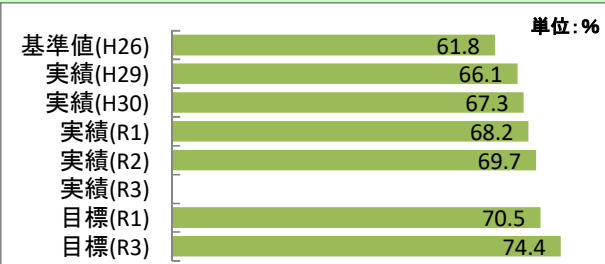
有収水量÷(配水量-無効水量)=有収率

4,250,569÷(5,925,463-6,008)=71.8%

老朽管の更新に伴い給水管(布設替を行っていない一般家庭引込管)の漏水が増大している。

水洗化率(下水道)

下水道課

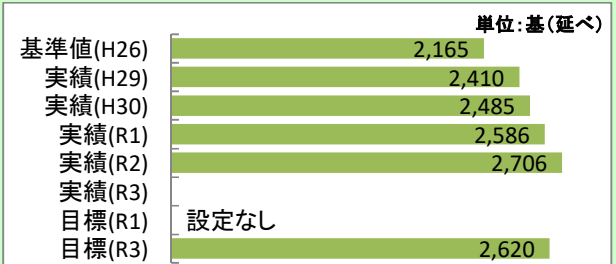


◎説明

水洗化率=接続人口/処理区内人口×100
=13,537人/19,432人×100
=69.7%

合併処理浄化槽設置基数

環境政策課



◎説明

※目標(R3)達成

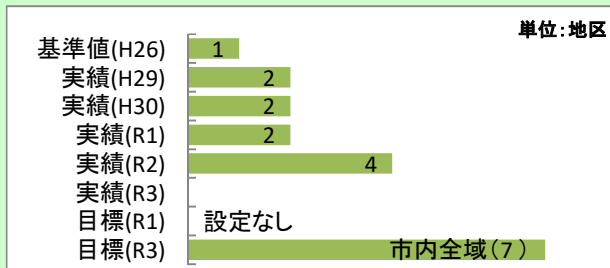
国見:1,529 瑞穂:129 吾妻:138 愛野:133
千々石:54 小浜:412 南串山:311

政策３－４ 情報化・先端技術

ICTやロボット技術など先端技術を活用したまちづくりを進めます。

光ブロードバンドサービス開始地区数

行革推進課

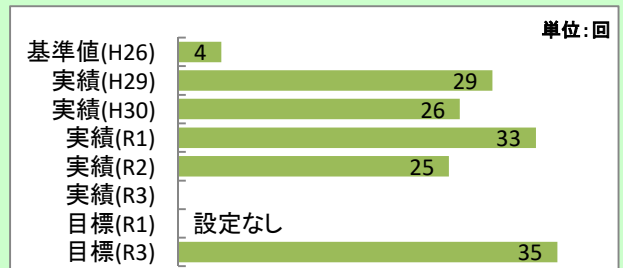


◎説明

国見町、小浜町の一部エリアで提供。
令和2年度から「雲仙市超高速ブロードバンド基盤整備事業」に着手し、吾妻町、愛野町エリアが新たに提供開始となった。
令和2年度～令和4年度での整備計画を見直し、令和3年度までに市内全域整備完了に計画を前倒した。

メディア安全講習会開催数

生涯学習課

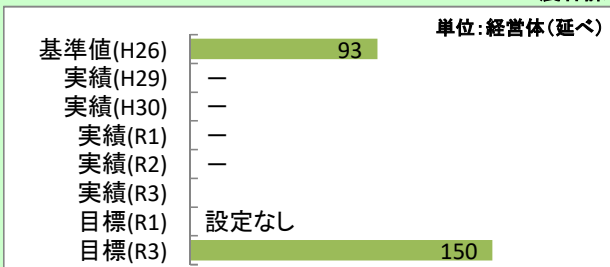


◎説明

市内小・中学校の保護者・教員向けのオンライン配信形式でのメディア講演会に加え、新入学児童保護者向けメディア安全講習会を各小・中学校にて実施した。

省力技術を新たに導入した経営体数(農業)

農林課



◎説明

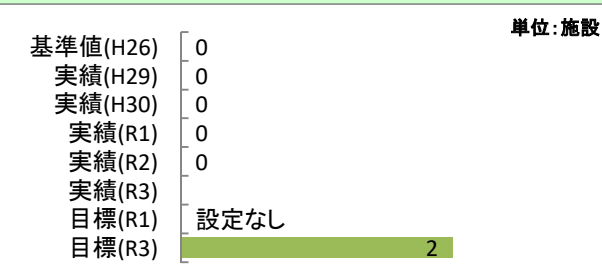
県計画より削除されたため実績不明

政策3-5 環境にやさしいまちづくり

豊かな自然環境を守りながら、再生可能エネルギーの活用を進めます。
また、ごみが少ない、衛生的で安心して暮らせる生活環境をつくります。

木質等バイオマス発電・熱利用施設(半島内)

環境政策課

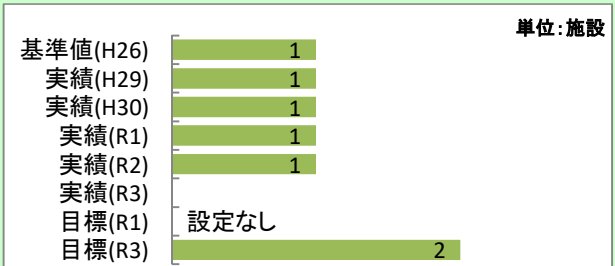


◎説明

- ・雲仙市環境センターへのバイオマス発電機設置事業者を公募(R2.4.1～6.1)⇒応募者無し
- ・発電機をボイラーに変更し再募集準備
- 応募期間:R3.4.5～5.14
- (R3年度:事業者公募及び決定、R4年度:ボイラー設置予定)

地熱発電施設(温泉水)

環境政策課

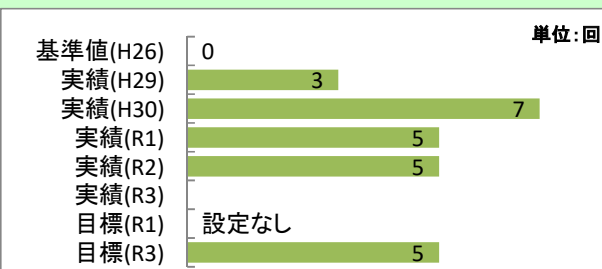


◎説明

- ・バイナリー発電の実証実験フィールドとして足湯内の施設を活用。
- ①産(馬淵工業所)・学(東北大学)
- ②産(ゼネシス)・学(東京海洋大学)

環境学習開催回数

環境政策課



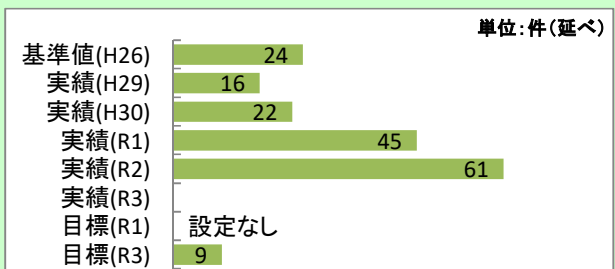
◎説明

環境学習出前講座開催回数
自治会1、小学校3、団体1

※目標(R3)達成

不法投棄回収指導件数

環境政策課

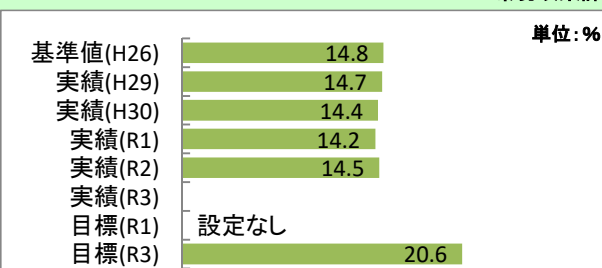


◎説明

市有地等に不法投棄された廃棄物の回収及び個人所有地で発生した不法投棄に対する相談対応回数。

ごみの再資源化率

環境政策課

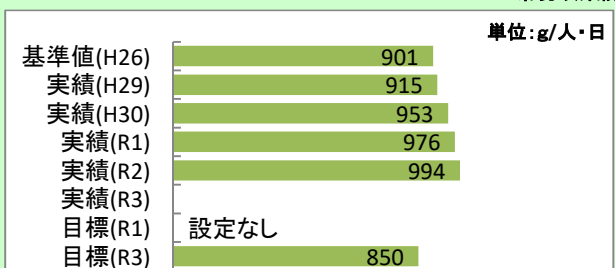


◎説明

総資源化量÷ごみ排出量
2.251t÷15.526t×100≒14.5%

1人1日あたりのごみ排出量

環境政策課

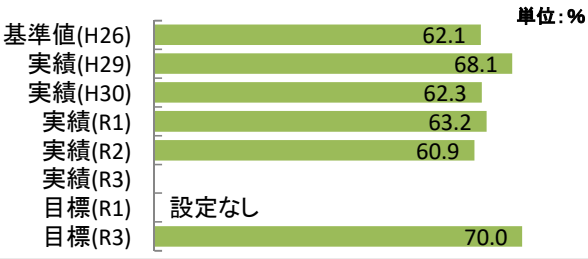


◎説明

ごみ排出量÷総人口÷365日
15,526t÷15,526,000,000g÷42,776人÷365日
≒994

狂犬病予防注射接種率

環境政策課



◎説明

令和2年度の犬の登録頭数(2,038頭)の内、予防接種済の頭数(1,241頭)
(1,241÷2,038×100=60.89%)

基本方針4 人財と郷土

政策4-1 学校教育

自ら学ぶ力と豊かな心を育む学校教育を推進します。

全国学力調査との比較(小)

学校教育課

	単位: %
基準値(H26)	全国比-1.8~-0.5
実績(H29)	全国比-4.6~+1.7
実績(H30)	全国比-1.0~+1.4
実績(R1)	全国比-1.6~+0.9
実績(R2)	中止
実績(R3)	
目標(R1)	全国平均
目標(R3)	全国平均以上

◎説明

令和2年度は全国学力・学習状況調査が中止となった。実績値は令和元年度のものであるが、過年度よりも改善傾向にあり、取組の成果が感じられる。

全国学力調査との比較(中)

学校教育課

	単位: %
基準値(H26)	県比-5.4~-4.0
実績(H29)	県比-2.8~+0.5
実績(H30)	県比-3.3~-0.1
実績(R1)	県比-1.0~+1.6
実績(R2)	中止
実績(R3)	
目標(R1)	県平均
目標(R3)	県平均以上

◎説明

令和2年度は全国学力・学習状況調査が中止となった。実績値は令和元年度のものであるが、過年度よりも改善傾向にあり、取組の成果が感じられる。

小学校間交流学習実施率

学校教育課

	単位: %
基準値(H26)	75.0
実績(H29)	95.0
実績(H30)	84.0
実績(R1)	100.0
実績(R2)	70.6
実績(R3)	
目標(R1)	設定なし
目標(R3)	100.0

◎説明

市内小学校17校のうち12校が交流学習を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、特別支援教育に関する交流会が中止となった。

九州大会出場種目数(中学生)

学校教育課

	単位: 種目/年
基準値(H26)	6
実績(H29)	8
実績(H30)	4
実績(R1)	3
実績(R2)	—
実績(R3)	
目標(R1)	8
目標(R3)	10

◎説明

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止となった。予選となる県中総体も同じ理由で中止となった。

不登校児童生徒数

学校教育課

	単位: 人/年
基準値(H26)	14
実績(H29)	29
実績(H30)	29
実績(R1)	28
実績(R2)	34
実績(R3)	
目標(R1)	設定なし
目標(R3)	5以下

◎説明

児童生徒や家庭状況の多様化に伴い、不登校者数は増加傾向にある。学校や児童生徒サポートセンター事業により、不登校児童生徒に対する支援を実施している。不登校に対する認識の変化もあり、学校復帰のみを目標とするのではなく、中・長期的視点で社会的自立を支援することが課題である。

校舎と体育館の外壁の耐震化率

総務課

	単位: %
基準値(H26)	26
実績(H29)	31
実績(H30)	31
実績(R1)	36
実績(R2)	38
実績(R3)	
目標(R1)	設定なし
目標(R3)	50以上

◎説明

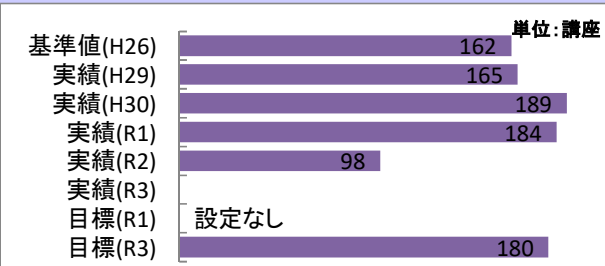
令和2年度までの実績 18/48箇所
(分母=24校舎+24体育館)
雲仙小閉校により分母減のため

政策４－２ 生涯学習

生涯にわたって、学べる環境をつくれます。

講座、講演会等の開催数

生涯学習課

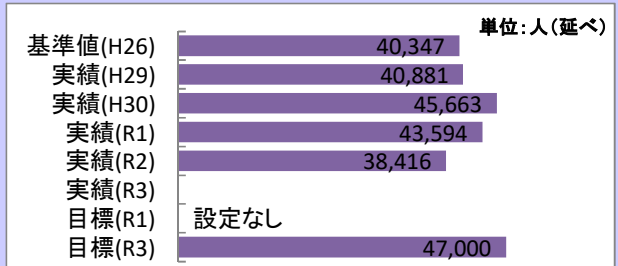


◎説明

一般成人向け、小中学生向け、高齢者向け、幼児・親子向けほか男女共同参画講座など全98講座を開催した。延べ1,899人が参加した。新型コロナウイルス感染症感染防止対策として講座を中止した。

図書館利用者数

生涯学習課



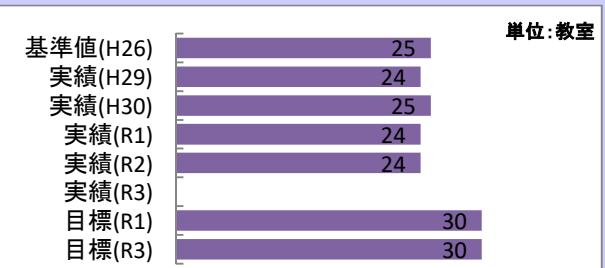
◎説明

雲仙市図書館11,067人 移動図書3,765人
瑞穂図書室1,894人 吾妻図書室3,043人
愛野図書室10,451人 千々石図書室2,872人
小浜図書室3,002人 南串山図書室2,322人

新型コロナウイルス感染症感染防止対策として利用制限を設けた。

土曜学習推進事業

生涯学習課

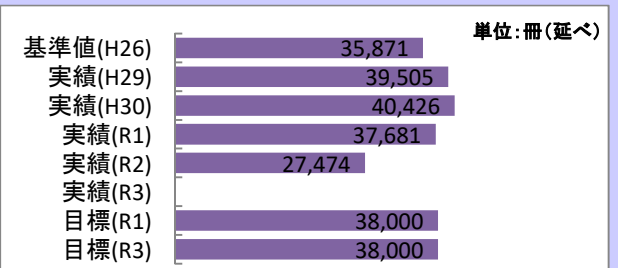


◎説明

国見地区8教室、吾妻3教室、愛野7教室、千々石2教室、小浜1教室、南串山3教室

移動図書館事業(貸出冊数)

生涯学習課

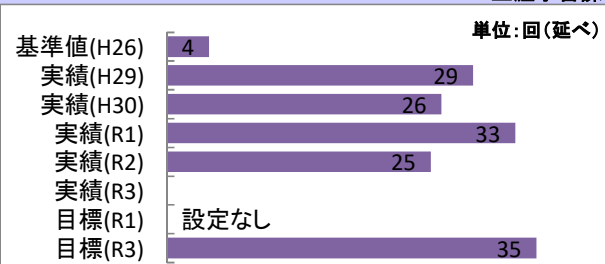


◎説明

小学校15校12,338冊、幼・保育園23箇所10,791冊、学童クラブ4箇所827冊、福祉施設8箇所3,354冊、公共施設2箇所164冊

メディアの安全指導に関する講演会等

生涯学習課

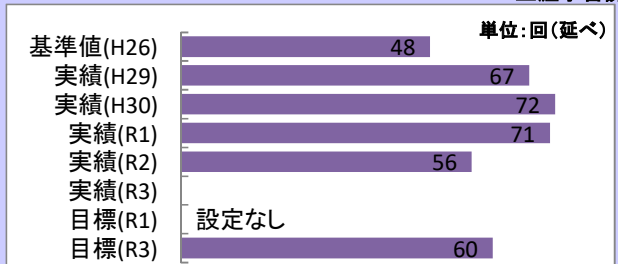


◎説明

市内小・中学校の保護者・教員向けのオンライン配信形式でのメディア講演会に加え、新入学児童保護者向けメディア安全講習会を各小・中学校にて実施した。

ブックスタート事業

生涯学習課



◎説明

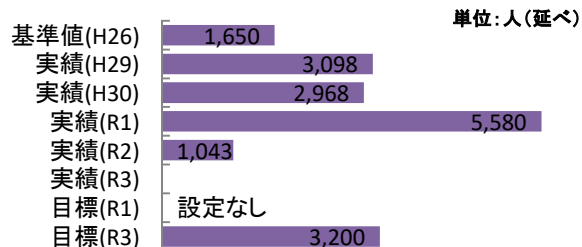
・ブックスタート 4会場×10回 (232名)
・フォローアップ(乳幼児向けおはなし会)3会場 合計16回
新型コロナウイルス感染症感染防止対策としてブックスタートを中止した。

政策４－３ 生涯スポーツ

スポーツに親しむことができる環境をつくります。

スポーツ教室・スポーツ大会参加者数

スポーツ振興課



◎説明

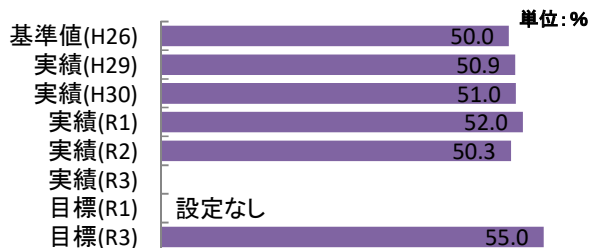
気軽にスポーツ活動を楽しめることができるよう、ラジオ体操会の開催、陸上教室や水泳教室のほか、ウォーキング大会を実施した。また、新型コロナウイルス感染症に関する講習会を開催した。

新型コロナウイルスの影響により実施できなかったイベントもあり、参加者数については昨年を下回ったものの、市民のニーズは高く、運動・スポーツ活動の機会のきっかけとなり参加者増に繋がっている。

- ・ラジオ体操会(604人)
- ・スポーツ医科学・基礎講座(33人)
- ・水泳教室(70人)
- ・陸上教室(36人)
- ・ウォーキング大会(204人)
- ・市レクリエーション＆スポーツフェスタ(96人)

小学生クラブ活動振興会で活動する子どもたち(5、6年生)の割合

スポーツ振興課



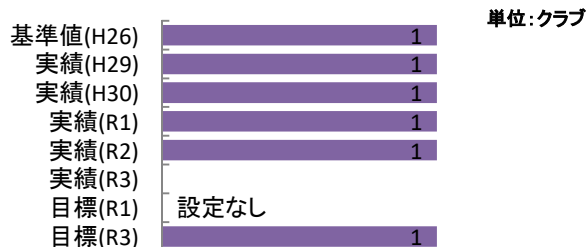
◎説明

適切な休養日や練習時間の遵守等、健全なクラブ活動ができるよう指導助言を行なっている。クラブ単位の子どもたちの活動人数は減少傾向ではあるが、クラブの維持継続に努められている。

(全体数685人中 5年生157人、6年生188人)

総合型地域スポーツクラブ数

スポーツ振興課



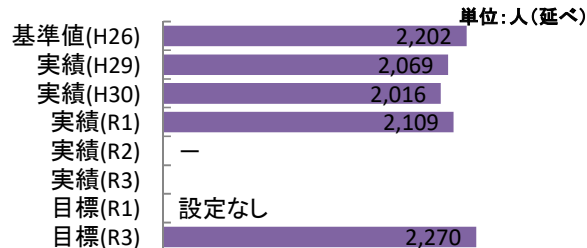
◎説明

※目標(R3)達成

実績1クラブを維持し、市民が身近な地域で、生涯にわたりスポーツに親しめる環境を支援しており、自主的な活動を継続している。

雲仙市民スポーツ大会出場競技者数

スポーツ振興課



◎説明

新型コロナウイルスの影響により実施できなかった。

スポーツ施設の利用者数

スポーツ振興課

単位:人(延べ)

基準値(H26)	424,567
実績(H29)	416,157
実績(H30)	422,598
実績(R1)	407,674
実績(R2)	251,206
実績(R3)	
目標(R1)	設定なし
目標(R3)	425,000

◎説明

利用者については、新型コロナウイルス感染拡大防止による施設の閉鎖によるもの。

ただ、余暇時間の増大や健康意識の高まりなど、スポーツレクリエーション活動を気軽に楽しむ場は求められている。

指定管理者制度の導入施設数

スポーツ振興課

単位:施設

基準値(H26)	2
実績(H29)	2
実績(H30)	2
実績(R1)	2
実績(R2)	2
実績(R3)	
目標(R1)	設定なし
目標(R3)	2

◎説明

※目標(R3)達成

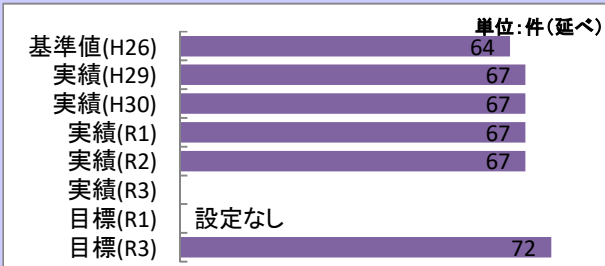
施設快適に活用し高度なサービスが提供できるよう、民間企業のノウハウ等を導入できる指定管理者制度を活用し、国見総合運動公園及びリフレッシュセンターおばまを運営している。

政策４－４ 歴史・文化・芸術

歴史を守りながら、芸術・文化の香りが漂うまちづくりを進めます。

文化財の指定数

生涯学習課

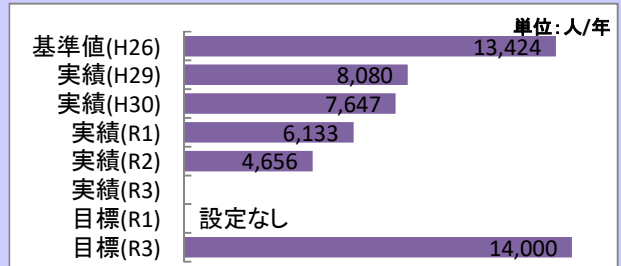


◎説明

指定文化財については、新たな指定を増やすことよりも、すでに指定されているものをしっかりと保護していくことに重点を置いていることから、指定数は平成28年度末実績と同数を維持している。

鍋島邸入場者数

生涯学習課

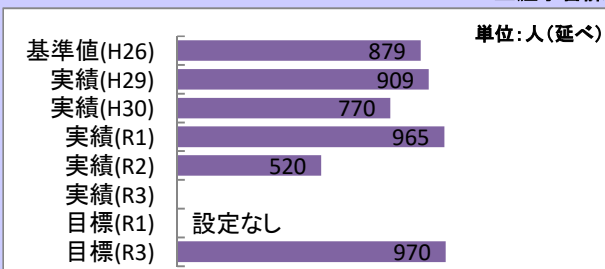


◎説明

年々減少傾向であったが、令和元年以降、新型コロナウイルスまん延に伴う施設閉館等も影響し、更に減少した。

市民音楽祭や美術展への来場者数

生涯学習課

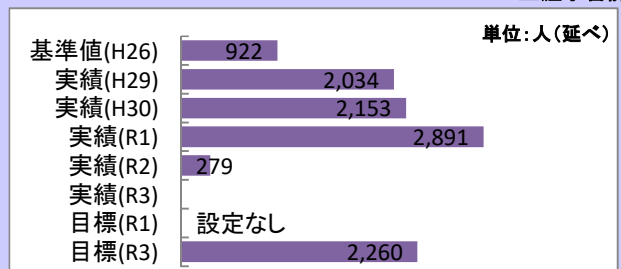


◎説明

・第15回雲仙市美術展覧会 520名 愛の夢未来センター
雲仙市民音楽祭については、新型コロナウイルス感染症拡大状況を踏まえ中止となった。

文化会館自主文化事業振興会主催による事業(コンサート等)への来場者数

生涯学習課



◎説明

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、いくつかの事業が中止となったが、青春の歌コンサートと2会場でのロビーコンサートを実施し、計279名の来場者が参加した。

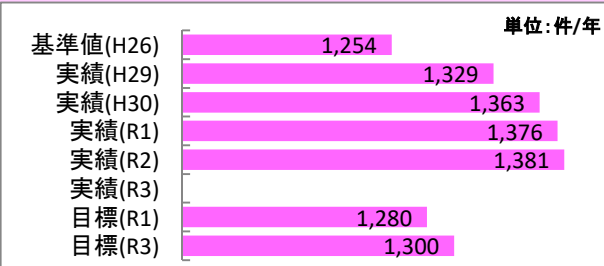
基本方針5 協働と戦略

政策5-1 協働のまちづくり

男女が平等で一人ひとりの人権が守られる社会を目指します。
また、市民主体の協働型のまちづくりを進めます。

自治会活動活性化交付金活動割対象事業数

地域づくり推進課



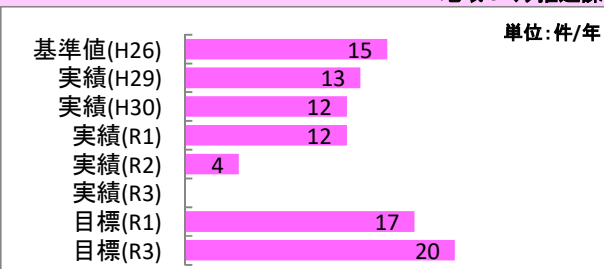
◎説明

国見町 259件
瑞穂町 97件
吾妻町 184件
愛野町 133件
千々石町 295件
小浜町 345件
南串山町 68件

※目標 (R1, R3) 達成

地域づくり事業活動数

地域づくり推進課



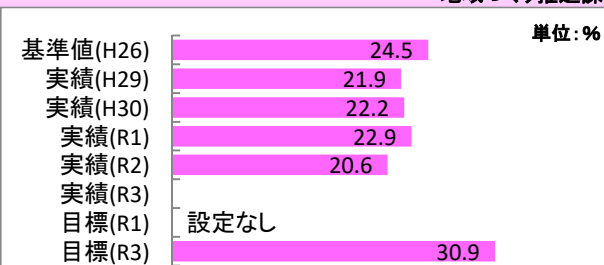
◎説明

国見町 1件
吾妻町 1件
南串山町 2件
計4件

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各町の夏祭りが中止となった。

市審議会等における女性委員登用率

地域づくり推進課

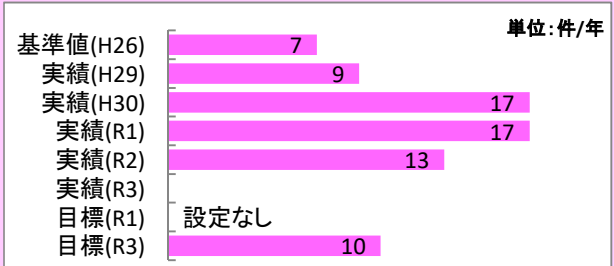


◎説明

総委員数 417人
うち女性委員数 86人
86人(女性委員)/417人(総委員) = 20.6%

自治集会所等整備事業実施件数

地域づくり推進課



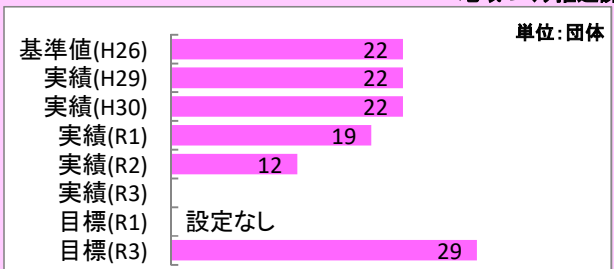
◎説明

国見町 4件
瑞穂町 4件
吾妻町 1件
愛野町 1件
小浜町 1件
南串山町 2件
計 13件

※目標 (R3) 達成

まちづくり団体数

地域づくり推進課



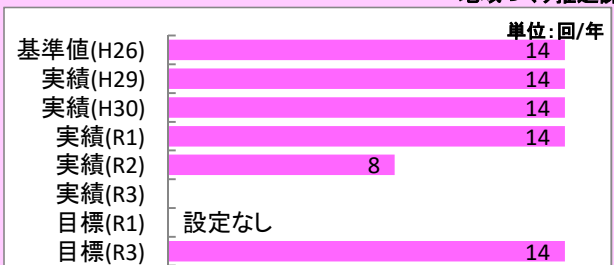
◎説明

市内NPO法人団体8団体
地域づくり補助金申請団体4団体

計12団体

人権相談所開設数

地域づくり推進課



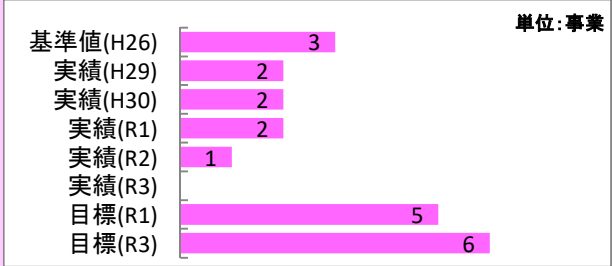
◎説明

月1回の相談を12回、特設相談を2回予定していたが、コロナ感染拡大防止のため6回中止となった

【再掲】大学・専門学校(学生)等との連携事業数(年間)

政策企画課

単位:事業



◎説明

「UNZEN,温泉と地下構造調査」を長崎大学と連携して行った。(環境政策課)

【内容】

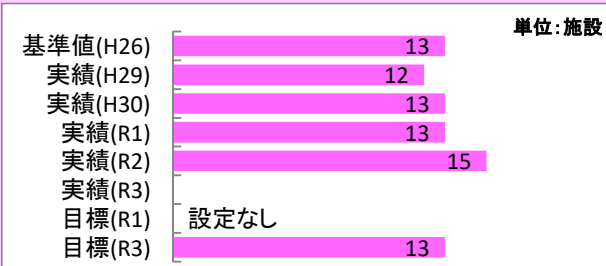
- ・雲仙市内(雲仙・小浜地域)の源泉調査の実施
- ・主要源泉におけるモニタリングの実施
- ・地下構造の調査(GDS法による電磁探査)
- ・地熱資源の保護・活用に関する条例の制定および協議体制の構築

政策５－２ 行政運営

効率的で質の高い行政運営を行います。

指定管理者制度の導入施設数

行革推進課



◎説明

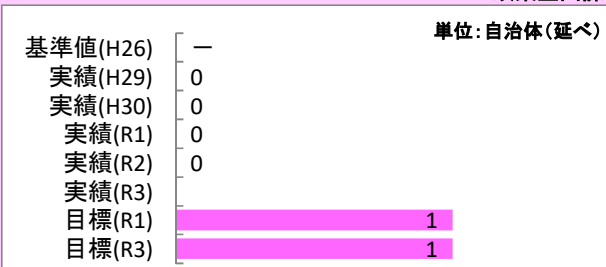
※目標（R3）達成

令和2年度指定管理者制度導入施設数 15施設

※前年度指定管理者制度導入施設数13に、令和2年度から「小浜歴史資料館」と「国民宿舎望洋荘」が追加となった。（※国民宿舎望洋荘は、R3.10.13指定取消し）

定住自立圏形成数（H26以降の累計）

政策企画課

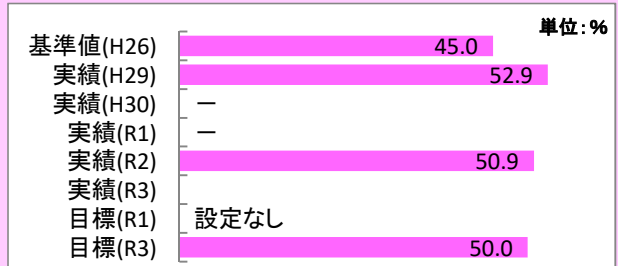


◎説明

引き続き、形成の可能性について、調査、研究を行う。

雲仙市に住み続けたい市民の割合（20代）

政策企画課



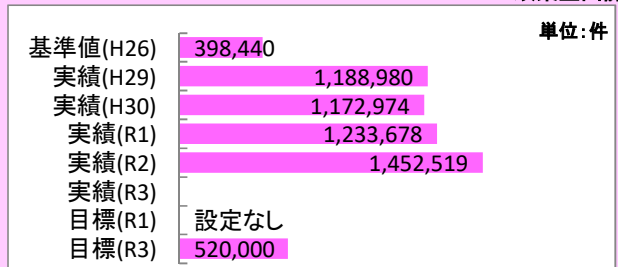
◎説明

※目標（R3）達成

令和2年度に実施した「第2次雲仙市総合計画後期基本計画策定に係る市民アンケート」において、20代の回答結果は以下のとおりとなった。
「今の場所に住み続けたい」44.8%
「雲仙市内で別の場所に移りたい」6.1%
合計 44.8%+6.1%=50.9%

市ホームページアクセス数

政策企画課



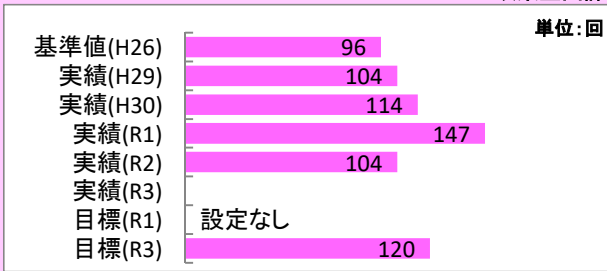
◎説明

※目標（R3）達成

・広報紙やパンフレット等へのQRコード掲載を推進しホームページへの利用促進を図った。
・広報委員会において、ホームページの活用と適切な記事の更新について周知を図った。

出前講座等開催数

政策企画課

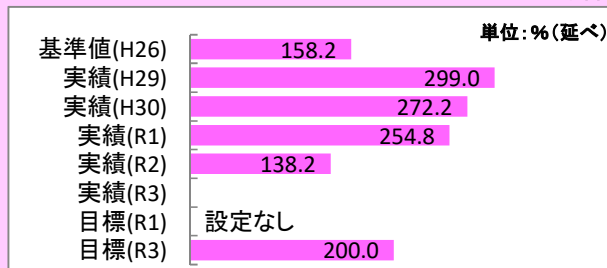


◎説明

- ・広聴活動については各課において実施。
- ・出前講座では9講座を104回開催
延べ2,708人参加
- ①自主防災組織出前講座: 13回 263人
- ②福祉介護出前講座: 3回 50人
- ③ゴミの分け方・出し方説明会: 4回 104人
- ④農業出前講座: 1回 20人
- ⑤未来の担い手事業: 3回 81人
- ⑥軽スポーツ出前講座: 5回 520人
- ⑦健康ミニ講座: 45回 1,139人
- ⑧消費生活出前講座: 17回 180人
- ⑨手話出前講座: 13回 349人

市職員研修参加率(一般職)

人事課

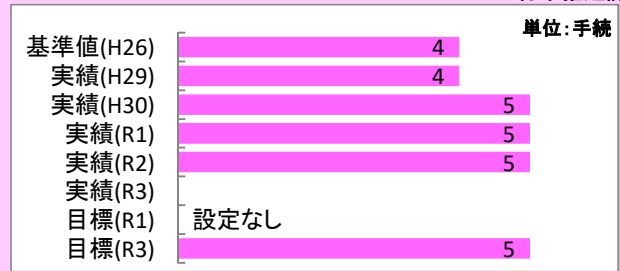


◎説明

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、集合研修を実施することができなかったため、研修参加者数が伸びなかった。

行政手続等のオンライン利用可能件数

行革推進課



◎説明

※目標(R3) 達成

平成30年度から市税等の納付手続がオンライン利用可能となった。(平成30年度に個人住民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税の納付が可能となり、令和元年度から保育料の納付も可能となった。)

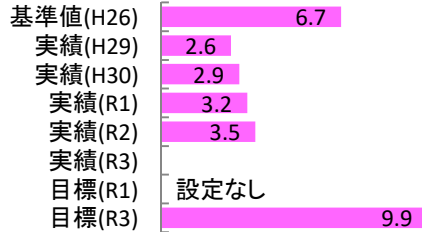
政策５－３ 財政運営

自主財源の確保に努めつつ、持続可能な財政運営に努めます。

実質公債費比率

財政課

単位：％



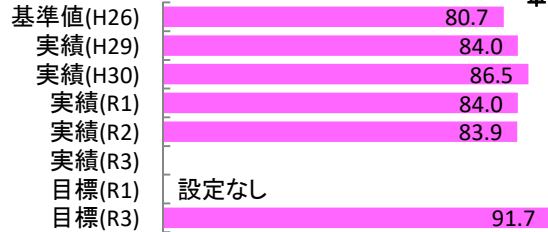
◎説明

過去からの繰上償還などにより地方債の償還金は減っているものの、普通交付税措置額の減少や段階的縮減等により標準財政規模も減少した結果、前年度より0.3ポイントの増となった。

経常収支比率

財政課

単位：％



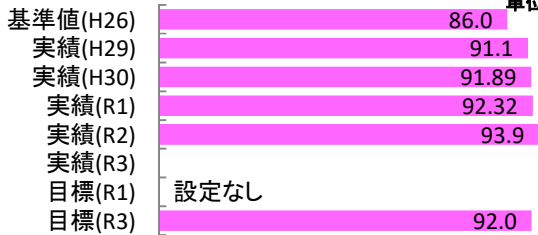
◎説明

歳出では、他会計に対する補助費等（繰出金）の減等により充当した経常的一般財源が全体で約1億3,835万円の減となった。
一方歳入では、普通交付税の段階的縮減等により経常的一般財源全体で約1億1,281万円の減となっており、この結果、前年度より0.1ポイントの減となった。

市税の収納率

収納推進課

単位：％



◎説明

※目標（R3）達成

法律に基づいた滞納処分を中心とした滞納整理に努めている。
差押さえた預金債権については即時取り立てし、動産については、期間入札やインターネット公売による換価を行い、滞納税への充当を図っている。
新型コロナウイルス感染症に関連する特例徴収猶予が設けられ、申請分の市税の納付を翌年度以降に延納したが、前年より1.55ポイントの収納率増となり、目標値を上回った。

全体

調定額 4,134,765千円・・・A
収納額 3,881,250千円・・・B
不納欠損額33,091千円・・・C
B/A＝93.87%

現年度

調定額 3,935,675千円・・・A
収納額 3,841,988千円・・・B
不納欠損額 4,594千円・・・C
B/A＝97.62%

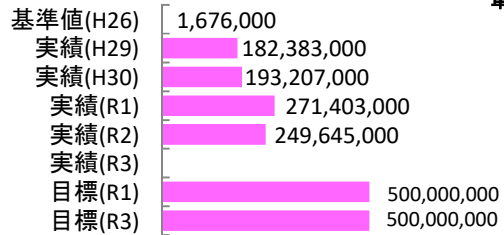
過年度

調定額 199,090千円・・・A
収納額 39,261千円・・・B
不納欠損額28,496千円・・・C
B/A＝19.72%

【再掲】ふるさと応援寄附額

観光物産課

単位：円/年

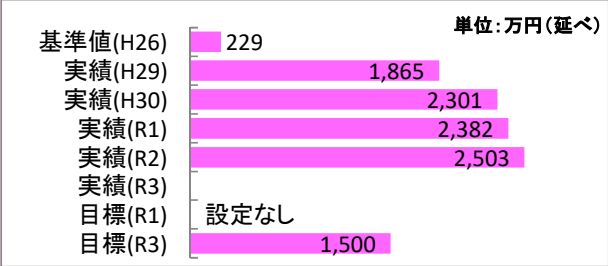


◎説明

ポータルサイト及び返礼品数を増やしたが、寄附額は前年比で減（▲91％）

普通財産売却による収入額

財産管理課



◎説明

※目標 (R3) 達成

普通財産売却 18件 1,216,031円
(延べ) 43件 25,036,882円